

(2) 全数把握対象感染症(一類～五類感染症の一部、新型インフルエンザ等感染症)の概況

(表-2-1～6)

ア 一類感染症

対象7感染症の報告はなかった。

イ 二類感染症

対象5感染症のうち、報告があったのは、結核のみであった。

(ア) 結核

360例の報告があり、肺結核 233例、その他 127例であった。性別は、男性 215例、女性 145例で、年齢は、75歳以上が 151例 (41.9%) であった。推定感染地域は、国内 352例、海外 7例 (中国、フィリピン各2例、タイ、マレーシア、ミャンマー各1例)、国内又は海外 (アラブ首長国連邦) 1例で、推定感染経路は、飛沫・飛沫核 300例、再燃 32例、不明 28例であった。

ウ 三類感染症

対象5感染症のうち、報告があったのは、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、パラチフスの3感染症で、計 38例の報告があった。

(ア) 細菌性赤痢

ソネの報告が2例あり、性別、年齢階級、推定感染経路、推定感染地域は、ともに、男性、20歳代、経口、海外 (インド、カンボジア・タイ) であった。

(イ) 腸管出血性大腸菌感染症

34例の報告があり、平成 11年4月以降では、平成 11年 (26例)、平成 12年 (33例) に次いで少なかった。詳細は、[患者情報 1](#) (平成 22年トピックス)「(1)ア 平成 22年 腸管出血性大腸菌感染症のまとめ」を参照。

(ウ) パラチフス

2例の報告があり、性別は、男性、女性各1例で、年齢階級別は、20歳代、60歳代各1例であった。推定感染地域は、国内 1例、海外 1例 (インド) で、推定感染経路は、ともに経口であった。

エ 四類感染症

対象41感染症のうち、報告があったのは、A型肝炎、デング熱、マラリア、レジオネラ症の4感染症で、計 22例の報告があった。

(ア) A型肝炎

3例の報告があり、性別は、すべて男性で、年齢階級別は、40歳代、60歳代、70歳代各1例であった。推定感染地域は、すべて国内で、推定感染経路は、経口 2例、不明 1例であった。

(イ) デング熱

4例の報告があり、性別は、男性 3例、女性 1例で、年齢階級別は、20歳代 2例、30歳代、60歳代各1例であった。推定感染地域は、すべて海外 (インドネシア2例、タイ、フィリピン各1例) で、推定感染経路は、すべて蚊であった。

(ウ) マラリア

5例の報告があり、病型は、三日熱 1例、熱帯熱 3例、卵型 1例であった。性別は、男性 3例、女性 2例で、年齢階級別は、20歳代 1例、30歳代 2例、40歳代 2例であった。推定感染地域は、すべて海外（インド、ガーナ、ザンビア、ブルキナファソ、ウガンダ・ケニア）で、推定感染経路は、すべて蚊であった。

(エ) レジオネラ症

10例の報告があり、性別は、男性 6例、女性 4例で、年齢階級別は、50歳代 1例、60歳代 3例、70歳代 6例であった。推定感染地域は、すべて国内で、推定感染経路は、水系 3例、不明 7例であった。

オ 五類感染症

対象16感染症のうち、報告があったのはアメーバ赤痢、ウイルス性肝炎、急性脳炎、クロイツフェルト・ヤコブ病、劇症型溶血性レンサ球菌感染症、後天性免疫不全症候群、ジアルジア症、梅毒、麻しんの9感染症で、計60例の報告があった。

(ア) アメーバ赤痢

18例の報告があり、腸管アメーバ症 13例、腸管及び腸管外アメーバ症 5例であった。性別は、男性 16例、女性 2例で、年齢階級別は、30歳代～60歳代であった。推定感染地域は、国内 15例、海外 2例（インドネシア、中国各1例）、国内又は海外（インドネシア）1例であった。推定感染経路は、経口 4例、性行為 5例（同性間1例、異性間 4例）、経口及び性行為（異性間）1例、不明 8例であった。

(イ) ウイルス性肝炎

B型肝炎の報告が2例あり、性別、年齢階級別は、ともに、男性、40歳代であった。推定感染地域は、国内 1例、海外 1例（タイ）、推定感染経路は、性行為（異性間）1例、不明 1例であった。

(ウ) 急性脳炎

9例の報告があり、平成15年以降では最も多かった。性別は、男性 5例、女性 4例で、年齢階級別は、0歳 5例、2歳 1例、5歳 1例、50歳代 2例であった。推定感染地域は、すべて国内で、推定感染経路は、飛沫・飛沫核 3例、不明 6例であった。病原体は、単純ヘルペスウイルス 2例、ヒトヘルペスウイルス6型 1例、インフルエンザA/H3N2型 1例、不明 5例（内ヒトヘルペスウイルス6型疑が1例）であった。

(エ) クロイツフェルト・ヤコブ病

3例の報告があり、性別は、男性 1例、女性 2例で、年齢階級別は、50歳代、60歳代、70歳代各1例であった。推定感染地域は、国内 1例、不明 2例、推定感染経路は、すべて不明であった。

(オ) 劇症型溶血性レンサ球菌感染症

2例の報告があり、性別は、ともに女性で、年齢階級別は、50歳代、70歳代各1例であった。推定感染地域、推定感染経路は、ともに、国内、不明であった。

(カ) 後天性免疫不全症候群

17 例の報告があり、無症候性キャリア 8 例、AIDS 6 例、その他 3 例であった。性別は、すべて男性で、年齢階級別は、無症候性キャリアは 20 歳代～40 歳代、AIDS は 30 歳代～50 歳代、その他は 20 歳代～30 歳代 2 例、70 歳代 1 例であった。推定感染地域は、国内 15 例、不明 2 例で、推定感染経路は、性行為 13 例（同性間 9 例、異性間 2 例、不明 2 例）、不明 4 例であった。

(キ) ジアルジア症

1 例の報告があり、男性、30 歳代であった。推定感染地域は、国内で、推定感染経路は、経口であった。

(ク) 梅毒

6 例の報告があり、早期顕症Ⅰ期 1 例、Ⅱ期 2 例、晩期顕症 2 例、無症候 1 例であった。性別は、晩期顕症、無症候の各 1 例が女性で、それ以外はすべて男性であった。年齢階級別は、30 歳代 5 例、60 歳代 1 例であった。推定感染地域は、国内 5 例、国内又は海外（アメリカ）1 例で、推定感染経路は、性行為 5 例（同性間 2 例、異性間 2 例、不明 1 例）、不明 1 例であった。

(ケ) 麻しん

2 例の報告があり、麻しん（臨床診断例）1 例、修飾麻しん（検査診断例）1 例であった。性別は、男性、女性各 1 例、年齢階級別は、50 歳代、60 歳代各 1 例であった。推定感染地域は、ともに国内で、推定感染経路は、飛沫・飛沫核、不明各 1 例であった。

カ 新型インフルエンザ等感染症

対象 2 感染症のうち、新型インフルエンザとして、新型インフルエンザ（A/H1N1）のみ発生した。当該感染症は、平成 21 年 7 月 24 日以降、定点把握対象のインフルエンザとして集計されている。（なお、新型インフルエンザ（A/H1N1）は、インフルエンザ（H1N1）2009 に名称が変更され、平成 23 年 4 月 1 日から、新型インフルエンザから季節性インフルエンザへ移行している。）

(3) 定点把握対象五類感染症の概況

ア 患者定点の変遷について(表-3)

定点把握対象五類感染症の定点数は、インフルエンザ定点 68、小児科定点 41、眼科定点 10、性感染症定点 13、基幹定点 1 であったが、平成 22 年 11 月 1 日（第 44 週）から、インフルエンザ定点 67、小児科定点 40 に減少した。

定点数の推移

年次\定点の種別	インフルエンザ*	小児科	眼科	性感染症	基幹
平成11年	68	41	10	13	1
平成12年	68	41	10	13	1
平成13年	68	41	10	13	1
平成14年	68	41	10	13	1
平成15年	68	41	10	13	1
平成16年	68	41	10	13	1
平成17年	68	41	10	13	1
平成18年	68	41	10	13	1
平成19年	68	41	10	13	1
平成20年	68	41	10	13	1
平成21年	68	41	10	13	1
平成22年*	68(67)	41(40)	10	13	1

* インフルエンザ定点は感染症法施行時(平成11年4月)に新設された。それまでのインフルエンザは、インフルエンザ様疾患として小児科定点から報告されていた。

* () 内は、平成 22 年 11 月 1 日(第 44 週)以降の定点数

インフルエンザ定点は、インフルエンザの発生状況を全年齢階級で定量的に把握し、発生予防及びまん延防止に役立てるため、感染症法施行時(平成 11 年 4 月)に新たに設置された。小児科定点 41 と内科定点 27 を合わせた 68 定点である。平成 22 年は、東山区（第 1 週から）、左京区（第 9 週から）の各 1 定点が変更となり、11 月 1 日（第 44 週）から左京区の 1 定点が減少し、67 定点となった。行政区別の定点は、伏見区が 11 定点と最も多く、次いで右京区が 8 定点、北区、左京区（11 月 1 日（第 44 週）から 6 定点）、山科区、西京区が各 7 定点、上京区、中京区、南区が各 5 定点、東山区、下京区が各 3 定点である。

小児科定点は、昭和 57 年 4 月の感染症発生動向調査事業の開始時に 48 定点でスタートしたが、その後、行政区の人口、特に小児人口を考慮して、定点数とその配置の変更を行ってきた。昭和 62 年には 46 定点、平成 5 年には 43 定点、平成 6 年には 42 定点に変更されたが、平成 7 年には定点数の少ない区を中心に 7 定点増設され 49 定点となった。平成 11 年 4 月から、感染症法の施行に伴い、41 定点となった。平成 22 年は、東山区の 1 定点が変更となり、11 月 1 日（第 44 週）から左京区の 1 定点が減少し、40 定点となった。行政区別の定点は、伏見区が 7 定点と最も多く、次いで右京区が 5 定点、北区、左京区（11 月 1 日（第 44 週）から 3 定点）、山科区、西京区が各 4 定点、上京区、中京区、南区が各 3 定点、東山区、下京区が各 2 定点である。

眼科定点は、昭和 57 年 4 月から平成 11 年 3 月まで、上京区、中京区、伏見区に各 1 定点ずつ計 3 定点であったが、平成 11 年 4 月から、感染症法の施行に伴い、10 定点となった。行政区別の定点は、中京区と伏見区が各 2 定点、北区、上京区、左京区、山科区、右京区、西京区が各 1 定点である。

性感染症定点は、昭和 62 年に 10 定点で開始され、平成 2 年には 9 定点、平成 7 年には 12 定点、平成 11 年 4 月から、感染症法の施行に伴い、13 定点(産婦人科 7 定点、泌尿器科・皮膚科 6 定点)となった。行政区別の定点は、中京区と伏見区が各 2 定点、その他の区が各 1 定点である。ただし、性器クラミジア感染症、淋菌感染症については、一部の行政区でデータの不備があった。このため、性器クラミジア感染症については、平成 11 年 4 月から平成 14 年 12 月までは 2 定点(東山区、下京区)を除く 11 定点のデータを、平成 15 年 1 月から平成 16 年 12 月までは 1 定点(下京区)を除く 12 定点のデータを使用した。また、淋菌感染症については、平成 11 年 4 月から平成 16 年 12 月までは 1 定点(下京区)を除く 12 定点のデータを使用した。

基幹定点は、平成 11 年 3 月までの病院定点に相当するものであるが、平成 11 年 4 月から、感染症法の施行に伴い、規定に合わせて見直され、中京区の 1 定点となった。

行政区別定点数(平成22年)

行政区\定点	インフルエンザ	小児科	眼科	性感染症	基幹
北	7	4	1	1	—
上京	5	3	1	1	—
左京*	7(6)	4(3)	1	1	—
中京	5	3	2	2	1
東山	3	2	—	1	—
山科	7	4	1	1	—
下京	3	2	—	1	—
南	5	3	—	1	—
右京	8	5	1	1	—
伏見	11	7	2	2	—
西京	7	4	1	1	—
合計*	68(67)	41(40)	10	13	1

* () 内は、平成 22 年 11 月 1 日(第 44 週)以降の定点数

イ 年間報告数、定点当たり報告数の推移(表-4-1~5-2, 図-1~2, 図5)

(ア) インフルエンザ定点

インフルエンザ定点からの年間報告数は、2,139 例であった。インフルエンザの平成 21 年～平成 22 年シーズンの流行が、平成 21 年中(平成 21 年第 44 週)にピークを迎えたため、平成 22 年はピークが形成されず、例年に比べ、極端に報告数が少なく(過去 5 年平均値の 0.16 倍)、平成 15 年以降最も少ない報告数であった。

インフルエンザについての詳細は、[患者情報 1](#)(平成 22 年トピックス)「(1) イ 平成 22 年 インフルエンザのまとめ」(p.2)を参照。

(イ) 小児科定点

小児科定点からの 11 感染症の年間総報告数は、23,227 例であり、平成 15 年以降では、平成 18 年(24,116 例)に次いで多かった。上位 5 感染症は、感染性胃腸炎、水痘、流行性耳下腺炎、手足口病、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の順であり、上位 5 感染症の報告数の合計は、20,395 例で、年間総報告数の 87.8%を占め、特に、最も多い感染性胃腸炎は 57.0%を占めていた。

小児科定点把握対象感染症の定点当たり報告数をみると、過去 5 年間(平成 17 年から平成 21

年まで)の平均値(過去5年平均値)より高い感染症は、11感染症中6感染症であった。過去5年平均値との比は、RSウイルス感染症が4.04倍と最も高く、数年周期で流行する、手足口病(2.07倍)、流行性耳下腺炎(1.86倍)、伝染性紅斑(1.31倍)は、流行年となった。

小児科定点把握対象感染症の報告数(報告数の降順)

感染症名	報告数(例)	定点当たり報告数	割合(%)	定点当たり報告数の 過去5年平均値との比 ()内は前年比
1 感染性胃腸炎	13,232	324.75	57.0	1.12 (1.35)
2 水痘	2,385	58.45	10.3	1.15 (1.49)
3 流行性耳下腺炎	1,834	44.86	7.9	1.86 (3.52)
4 手足口病	1,618	39.47	7.0	2.07 (3.15)
5 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1,326	32.48	5.7	0.98 (1.05)
小計(1~5)	20,395	500.01	87.8	1.20 (1.49)
6 ヘルパンギーナ	849	20.72	3.7	0.90 (1.46)
7 突発性発しん	796	19.49	3.4	0.93 (1.00)
8 伝染性紅斑	497	12.22	2.1	1.31 (7.71)
9 RSウイルス感染症	474	11.71	2.0	4.04 (3.04)
10 咽頭結膜熱	185	4.53	0.8	0.57 (1.73)
11 百日咳	31	0.76	0.1	0.93 (1.07)
合計	23,227	569.44	100.0	— (1.51)

小児科定点把握対象感染症の報告数(過去5年平均値との比の降順)

感染症名	報告数(例)	定点当たり報告数	定点当たり報告数の 過去5年平均値との比 ()内は前年比
1 RSウイルス感染症	474	11.71	4.04 (3.04)
2 手足口病	1,618	39.47	2.07 (3.15)
3 流行性耳下腺炎	1,834	44.86	1.86 (3.52)
4 伝染性紅斑	497	12.22	1.31 (7.71)
5 水痘	2,385	58.45	1.15 (1.49)
6 感染性胃腸炎	13,232	324.75	1.12 (1.35)
7 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1,326	32.48	0.98 (1.05)
8 百日咳	31	0.76	0.93 (1.07)
8 突発性発しん	796	19.49	0.93 (1.00)
10 ヘルパンギーナ	849	20.72	0.90 (1.46)
11 咽頭結膜熱	185	4.53	0.57 (1.73)

(ウ) 眼科定点

眼科定点からの2感染症の年間総報告数は、264例であった。

定点当たり報告数は、流行性角結膜炎は、26.30で、前年に比べやや増加した。急性出血性結膜炎は、0.10（1例）であった。

眼科定点把握対象感染症の報告数

感染症名	報告数(例)	定点当たり報告数	定点当たり報告数と 過去5年平均値との比 ()内は前年比
1 流行性角結膜炎	263	26.30	0.93 (1.05)
2 急性出血性結膜炎	1	0.10	0.29 (0.25)
合計	264	26.40	0.93 (1.04)

(エ) 性感染症定点

性感染症定点からの4感染症の年間総報告数は、432例であり、その内訳は、性器クラミジア感染症 240例、性器ヘルペスウイルス感染症 120例、尖圭コンジローマ 34例、淋菌感染症 38例であった。前年比は、性器クラミジア感染症 1.03、性器ヘルペスウイルス感染症 1.05、尖圭コンジローマ 0.81、淋菌感染症 0.90であり、性器クラミジア感染症及び性器ヘルペスウイルス感染症は、前年よりもやや増加し、尖圭コンジローマ及び淋菌感染症は、やや減少した。

性感染症の報告数

感染症名	報告数(例)	定点当たり報告数	定点当たり報告数と 過去5年平均値との比 ()内は前年比
1 性器クラミジア感染症	240	18.46	1.04 (1.03)
2 性器ヘルペスウイルス感染症	120	9.23	0.92 (1.05)
3 尖圭コンジローマ	34	2.62	0.96 (0.81)
4 淋菌感染症	38	2.92	0.99 (0.90)
合計	432	33.23	1.00 (1.00)

(オ) 基幹定点

対象7感染症の報告はなかった。

ウ 月別の報告状況 (表-6-1～表-10, 図-3～4)

感染症発生動向調査における平成22年の報告週対応表は<表-1>に示すとおりである。また、週単位で報告される感染症の月別集計は、この表に基づいて行っている。

インフルエンザ定点におけるインフルエンザの月別報告数は、1月(1,378例)、12月(282例)、2月(272例)の順となった。

小児科定点における対象感染症の月別報告数は、5月が2,927例と最も多く、次いで12月(2,718例)、2月(2,195例)の順であった。報告数が少なかったのは、10月(869例)、9月(999例)であった。感染症別にみると、1位は、1年を通じて感染性胃腸炎で、特に1月には75.9%を占めていた。2位は、1月、3月～5月、11月、12月は水痘、2月はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎、6月、8月は手足口病、7月はヘルパンギーナ、9月、10月は流行性耳下腺炎であった。3位は、1月、3月、11月はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎、2月、6月、10月は水痘、4月、8月は流行性耳下腺炎、5月、

7月手足口病、9月は突発性発しん、12月はRSウイルス感染症であった。

眼科定点及び性感染症定点における対象感染症の月別の報告数は〈表-6-2〉に示すとおりである。

エ 年齢階級別の報告状況（表-11-1～14-2, 図-6）

インフルエンザ定点における年齢階級別割合は、0～9歳が789例で、全体の36.9%を占めた。

小児科定点における年間総報告数の年齢階級別割合は、1歳が最も多く17.0%を占め、以下2歳12.7%、3歳10.9%、4歳9.8%の順であり、4歳以下が総報告数の59.3%を占めた。

小児科定点における年齢階級別の感染症別報告数は、全年齢階級とも感染性胃腸炎が1位であり、2位は、0～5箇月ではRSウイルス感染症、6～11箇月では突発性発しん、1～4歳では水痘、5歳～6歳では流行性耳下腺炎、7歳以上ではA群溶血性レンサ球菌咽頭炎であった。

眼科定点における年間総報告数の年齢階級別割合は、30～39歳が20.1%と最も高く、次いで20～29歳が17.4%であった。

性感染症定点における年間総報告数の年齢階級別割合は、20～24歳が29.6%、25～29歳が19.9%、30～34歳が13.2%、35～39歳が11.6%、15～19歳が10.6%の順であり、15～39歳が85.0%を占めた。

オ 行政区別の報告状況

行政区別の報告数、行政区別の定点当たり報告数、感染症別の行政区別割合及び行政区別の感染症別割合は〈表-15-1～18-2〉に示すとおりである。

(6) 表・図

《表-1》 報告週対応表(平成22年)

月・週		期間	月・週		期間
1月	第1週	1月 4日 ~ 1月 10日	7月	第27週	7月 5日 ~ 7月 11日
	第2週	1月 11日 ~ 1月 17日		第28週	7月 12日 ~ 7月 18日
	第3週	1月 18日 ~ 1月 24日		第29週	7月 19日 ~ 7月 25日
	第4週	1月 25日 ~ 1月 31日		第30週	7月 26日 ~ 8月 1日
2月	第5週	2月 1日 ~ 2月 7日	8月	第31週	8月 2日 ~ 8月 8日
	第6週	2月 8日 ~ 2月 14日		第32週	8月 9日 ~ 8月 15日
	第7週	2月 15日 ~ 2月 21日		第33週	8月 16日 ~ 8月 22日
	第8週	2月 22日 ~ 2月 28日		第34週	8月 23日 ~ 8月 29日
3月	第9週	3月 1日 ~ 3月 7日	9月	第35週	8月 30日 ~ 9月 5日
	第10週	3月 8日 ~ 3月 14日		第36週	9月 6日 ~ 9月 12日
	第11週	3月 15日 ~ 3月 21日		第37週	9月 13日 ~ 9月 19日
	第12週	3月 22日 ~ 3月 28日		第38週	9月 20日 ~ 9月 26日
4月	第13週	3月 29日 ~ 4月 4日	10月	第39週	9月 27日 ~ 10月 3日
	第14週	4月 5日 ~ 4月 11日		第40週	10月 4日 ~ 10月 10日
	第15週	4月 12日 ~ 4月 18日		第41週	10月 11日 ~ 10月 17日
	第16週	4月 19日 ~ 4月 25日		第42週	10月 18日 ~ 10月 24日
5月	第17週	4月 26日 ~ 5月 2日	11月	第43週	10月 25日 ~ 10月 31日
	第18週	5月 3日 ~ 5月 9日		第44週	11月 1日 ~ 11月 7日
	第19週	5月 10日 ~ 5月 16日		第45週	11月 8日 ~ 11月 14日
	第20週	5月 17日 ~ 5月 23日		第46週	11月 15日 ~ 11月 21日
6月	第21週	5月 24日 ~ 5月 30日	12月	第47週	11月 22日 ~ 11月 28日
	第22週	5月 31日 ~ 6月 6日		第48週	11月 29日 ~ 12月 5日
	第23週	6月 7日 ~ 6月 13日		第49週	12月 6日 ~ 12月 12日
	第24週	6月 14日 ~ 6月 20日		第50週	12月 13日 ~ 12月 19日
	第25週	6月 21日 ~ 6月 27日		第51週	12月 20日 ~ 12月 26日
	第26週	6月 28日 ~ 7月 4日		第52週	12月 27日 ~ 1月 2日

《表-2-1》全数把握対象感染症の診断月別報告数

全数把握対象感染症		合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
二類	結核	360	15	30	30	34	31	24	38	33	31	33	33	28
	肺結核	233	12	18	18	23	26	16	27	20	19	20	21	13
	その他	127	3	12	12	11	5	8	11	13	12	13	12	15
三類	細菌性赤痢	2	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-
	ソンネ	2							1		1			
	腸管出血性大腸菌感染症	34	-	-	1	4	1	2	13	5	5	1	1	1
	O26	1			1						1			
	O103	1									1			
	O111	2							1					1
四類	O157	30				4	1	2	12	5	4	1	1	
	パラチフス	2	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	A型肝炎	3	-	-	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-
	デング熱	4	-	-	-	1	-	-	2	1	-	-	-	-
	デング熱	4				1			2	1				
	マラリア	5	-	-	-	1	-	-	1	2	-	-	1	-
五類	三日熱	1							1					
	熱帯熱	3				1			1			1		
	卵形	1							1					
	レジオネラ症	10		1		4			2	2		1		
	アメーバ赤痢	18	3	2	-	1	2	2	2	1	1	2	1	1
	腸管アメーバ症	13	2	2		1	1	2	2	1		1	1	
五類	腸管外アメーバ症	5	1			1					1	1		1
	ウイルス性肝炎	2	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
	B 型	2				1	1							
	急性脳炎	9	-	-	1	2	-	-	-	-	1	-	2	3
	クロイツフェルト・ヤコブ病	3	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-
五類	後天性免疫不全症候群（注1）	17	1	1	6	4	-	1	2	-	-	-	-	2
	無症候性キャリア	8			5			1						2
	AIDS	6	1	1		2			2					
	その他	3			1	2								
	ジアルジア症	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	梅毒	6	-	1	-	1	-	-	1	-	-	-	2	1
五類	早期顕症：Ⅰ期	1										1		
	早期顕症：Ⅱ期	2										1	1	
	晩期顕症	2		1					1					
	無症候	1				1								
	麻しん	2	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	五類感染症 合計	60	4	5	8	8	3	4	8	1	2	3	7	7

（注1） 後天性免疫不全症候群についてのみ、報告月別での集計結果である。（他は診断月別）

《表-2-2》全数把握対象感染症の行政区別報告数

全数把握対象感染症		合計	北	上京	左京	中京	東山	山科	下京	南	右京	伏見	西京
二類	結核	360	28	18	40	22	12	35	23	30	33	81	38
	肺結核	233	19	13	24	18	8	21	17	22	15	53	23
	その他	127	9	5	16	4	4	14	6	8	18	28	15
三類	細菌性赤痢	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
	ソンネ	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
	腸管出血性大腸菌感染症	34	-	2	4	4	-	9	6	-	-	4	5
	O26	1										1	
	O103	1										1	
	O111	2			1				1				
四類	O157	30		2	3	4		9	5			2	5
	パラチフス	2	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	A型肝炎	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	1
	デング熱	4	1	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-
	デング熱	4	1			2		1					
	マラリア	5	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-	-
五類	三日熱	1		1									
	熱帯熱	3				3							
	卵形	1				1							
	レジオネラ症	10	1	-	-	-	3	-	4	-	-	-	2
	アメーバ赤痢	18	4	2	-	4	-	1	-	-	-	4	3
	腸管アメーバ症	13	3			3		1				4	2
五類	腸管外アメーバ症	5	1	2		1							1
	ウイルス性肝炎	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	B 型	2		1									1
	急性脳炎	9	-	-	-	7	1	1	-	-	-	-	-
	クロイツフェルト・ヤコブ病	3	-	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
五類	後天性免疫不全症候群（注1）	17	-	1	5	3	6	1	-	-	-	-	1
	無症候性キャリア	8			5	2		1					
	AIDS	6		1		1	3						1
	その他	3				3							
	ジアルジア症	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	梅毒	6	-	-	2	-	1	-	1	-	-	-	2
五類	早期顕症：Ⅰ期	1			1								
	早期顕症：Ⅱ期	2					1		1				
	晩期顕症	2			1							1	
	無症候	1										1	
	麻しん	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	五類感染症 合計	60	5	6	7	15	9	3	1	-	-	7	7

《表-2-3》全数把握対象感染症の性・年齢階級別報告数

全数把握対象感染症			合計	男性																女性																	
			男合計	0～	5～	10～	15～	20～	25～	30～	35～	40～	45～	50～	55～	60～	65～	70～	75～	女合計	0～	5～	10～	15～	20～	25～	30～	35～	40～	45～	50～	55～	60～	65～	70～	75～	
二類	結核		360	215	3	1	－	1	7	5	6	10	7	7	12	6	20	28	18	84	145	2	1	2	2	2	7	14	10	4	6	2	3	6	12	5	67
	肺結核		233	148	1	－	1	4	5	2	6	3	6	10	4	13	19	13	61	85	－	－	－	－	－	5	8	5	1	2	2	2	3	5	4	48	
	その他		127	67	2	1	－	3	－	4	4	4	1	2	2	7	9	5	23	60	2	1	2	2	2	2	6	5	3	4	－	1	3	7	1	19	
三類	細菌性赤痢		2	2	－	－	－	－	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－		
	ソルネ		2	2	－	－	－	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－		
	腸管出血性大腸菌感染症		34	13	1	－	2	5	2	－	1	1	－	－	1	－	－	－	－	21	－	－	－	5	3	4	2	3	－	－	－	2	－	1	1	－	
	○26		1	1	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－		
	○103		1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－		
	○111		2	2	1	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－		
○157		30	10	－	－	1	5	1	－	1	1	－	－	1	－	－	－	－	20	－	－	－	5	3	4	1	3	－	－	－	2	－	1	1	－		
バラチフス		2	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	1	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－		
四類	A型肝炎		3	3	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	1	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
	デング熱		4	3	－	－	－	－	－	1	－	1	－	－	－	－	1	－	－	－	1	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
	デング熱		4	3	－	－	－	－	1	－	1	－	－	－	－	－	1	－	－	1	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
	マラリア		5	3	－	－	－	－	－	2	－	－	1	－	－	－	－	－	－	2	－	－	－	－	1	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	
	三日熱		1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－		
	熱帯熱		3	2	－	－	－	－	－	－	1	－	1	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	1	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	
	卵形		1	1	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－		
レジオネラ症		10	6	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	1	－	2	2	4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	1	2	－		
五類	アメーバ赤痢		18	16	－	－	－	－	－	－	1	2	3	1	2	2	2	3	－	－	2	－	－	－	－	－	1	1	－	－	－	－	－	－	－	－	
	腸管アメーバ症		13	11	－	－	－	－	－	1	1	2	2	1	1	2	2	1	－	2	－	－	－	－	－	1	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
	腸管外アメーバ症		5	5	－	－	－	－	－	1	1	1	1	1	1	1	2	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
	ウイルス性肝炎		2	2	－	－	－	－	－	－	－	－	1	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
	B型		2	2	－	－	－	－	－	－	－	－	1	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－		
	急性脳炎		9	5	4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	1	－	－	－	4	2	1	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	
	クロイツフェルト・ヤコブ病		3	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	1	－	－	－	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	1	－	－		
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症		2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	1	－	－		
	後天性免疫不全症候群		17	17	－	－	－	－	1	2	1	5	4	2	1	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
	無症候性キャリア		8	8	－	－	－	－	1	1	－	3	3	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
	AIDS		6	6	－	－	－	－	1	1	－	1	2	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
	その他		3	3	－	－	－	－	1	1	－	1	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	
	ジアルジア症		1	1	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
	梅毒		6	4	－	－	－	－	－	2	1	－	－	－	－	－	－	1	－	2	－	－	－	－	－	－	1	1	－	－	－	－	－	－	－	－	
	早期顕症：Ⅰ期		1	1	－	－	－	－	1	－	1	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
早期顕症：Ⅱ期		2	2	－	－	－	－	1	1	－	1	－	－	－	－	－	1	－	1	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－		
晩期顕症		2	1	－	－	－	－	1	－	1	－	－	－	－	－	－	1	－	1	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－		
無症候		1	－	－	－	－	－	1	－	1	－	－	－	－	－	－	1	－	1	－	－	－	－	－	1	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－		
麻しん		2	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－		
五類感染症 合計			60	47	4	－	－	－	1	2	4	9	8	4	3	4	2	5	1	－	13	2	1	－	－	－	2	2	－	－	2	1	－	1	2	－	

《表-2-4》全数把握対象感染症の推定感染地域

全数把握対象感染症		合計	国内	海外														不明
				海外計	アメリカ	アラブ 首長国連	インド	インドネシア	ガーナ	ザンビア	タイ	中国	フィリピン	ブルキナファソ	マレーシア	ミャンマー	その他 ^{***}	
二 類	結核	* 361	353	8	-	1	-	-	-	-	1	2	2	-	1	1	-	-
	肺結核	* 234	228	6		1					1	2			1	1		
	その他	127	125	2									2					
三 類	細菌性赤痢	2	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	ソルネ	2	-	2			1										1	
	腸管出血性大腸菌感染症	34	34	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	○26	1	1	-														
	○103	1	1	-														
	○111	2	2	-														
	○157	30	30	-														
パラチフス	2	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
四 類	A型肝炎	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	デング熱	4	-	4	-	-	-	2	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-
	デング熱	4	-	4				2			1		1					
	マラリア	5	-	5	-	-	1	-	1	1	-	-	-	1	-	-	1	-
	三日熱	1	-	1			1											
	熱帯熱	3	-	3					1					1			1	
	卵形	1	-	1						1								
レジオネラ症	10	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
五 類	アメーバ赤痢	* 19	16	3	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	腸管アメーバ症	13	11	2				1				1						
	腸管外アメーバ症	* 6	5	1				1										
	ウイルス性肝炎	2	1	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	B 型	2	1	1							1							
	急性脳炎	9	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	クロイツフェルト・ヤコブ病	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	後天性免疫不全症候群	17	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	無症候性キャリア	8	7	-														1
	AIDS	6	5	-														1
	その他	3	3	-														
	ジアルジア症	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	梅毒	* 7	6	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	早期顕症：Ⅰ期	1	1	-														
早期顕症：Ⅱ期	2	2	-															
晩期顕症	* 3	2	1		1													
無症候	1	1	-															
麻しん	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
五類感染症 合計		* 62	53	5	1	-	-	2	-	-	1	1	-	-	-	-	-	4

* 推定感染地域が複数のため実際の報告数とは異なる。(結核 肺結核：国内・アラブ首長国連邦、アメーバ赤痢 腸管外アメーバ症：国内・インドネシア、梅毒 晩期顕症：国内・アメリカ)

** その他は、細菌性赤痢 ソルネ：カンボジア・タイ、マラリア 熱帯熱：ウガンダ・ケニア

《表-2-5》全数把握対象感染症の推定感染経路

全数把握対象感染症		合計	推定感染経路							
			飛沫 [*]	再燃	経口	接触	性行為	水系	媒介動物	不明
二 類	結核	360	300	32	-	-	-	-	-	28
	肺結核	233	196	23						14
	その他	127	104	9						14
三 類	細菌性赤痢	2	-	-	2	-	-	-	-	-
	ソルネ	2			2					
	腸管出血性大腸菌感染症	* * 35	-	-	24	2	-	-	-	9
	○26	1								1
	○103	1			1					
	○111	2			1	1				
	○157	* * 31			22	1				8
四 類	パラチフス	2	-	-	2	-	-	-	-	-
	A型肝炎	3	-	-	2	-	-	-	-	1
	デング熱	4	-	-	-	-	-	-	-	4
	デング熱	4								4
五 類	マラリア	5	-	-	-	-	-	-	-	5
	三日熱	1								1
	熱帯熱	3								3
	卵形	1								1
五 類	レジオネラ症	10	-	-	-	-	-	3	-	7
	アメーバ赤痢	* * 19	-	-	5	-	6	-	-	8
	腸管アメーバ症	13			4		3			6
	腸管外アメーバ症	* * 6			1		3			2
	ウイルス性肝炎	2	-	-	-	-	1	-	-	1
	B 型	2					1			1
	急性脳炎	9	3	-	-	-	-	-	-	6
	クロイツフェルト・ヤコブ病	3	-	-	-	-	-	-	-	3
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	-	-	-	-	-	-	-	2
	後天性免疫不全症候群	17	-	-	-	-	13	-	-	4
	無症候性キャリア	8					6			2
	AIDS	6					4			2
	その他	3					3			
	ジアルジア症	1	-	-	1	-	-	-	-	-
五 類	梅毒	6	-	-	-	-	5	-	-	1
	早期顕症：Ⅰ期	1					1			
	早期顕症：Ⅱ期	2					2			
	晩期顕症	2					1			1
	無症候	1					1			
	麻しん	2	1	-	-	-	-	-	-	1
五 類	五類感染症 合計	* * 61	4	-	6	-	25	-	-	26

* 飛沫・飛沫核感染

* * 感染経路が複数のため実際の報告数とは異なる。

(腸管出血性大腸菌感染症○157：経口及び接触が1例、アメーバ赤痢 腸管外アメーバ症：経口及び性行為が1例)

《表-2-6》全数把握対象感染症の診断年別報告数の年次推移

全数把握対象感染症		診断年(注1)											
		平成11年 4月以降	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
二 類	結核									(注3)347	397	399	360
	肺結核									242	259	274	233
	その他の結核									105	138	125	127
三 類	コレラ		3			1						1	
	細菌性赤痢	8	28	15	11	15	9	12	3	4	1	1	2
	ディセンテリ	1	1	1		1					1		
	フレキシネル	3	9	1	1	2	2		2	1		1	
	ボイド					2			1				
	ソンネ	4	16	12	10	10	7	8		3			2
	不明		2	1				4					
	腸管出血性大腸菌感染症	26	33	52	35	101	48	36	57	54	86	93	34
	O26		8	8		5	2	5	2	2	34	8	1
	O111			1						3	2	3	2
	O121						4		1			1	
	O157	25	25	43	32	96	42	30	54	49	41	79	30
	その他	1			3			1			9	2	1
	腸チフス		2			5	3	1			2		
	パラチフス				3		3	1			3		2
四 類	E型肝炎		1						2		1		
	A型肝炎	18	6	2	10	5		3	7	5	1	4	3
	オウム病	2								1			
	Q熱			1			1						
	狂犬病								1				
	デング熱(デング熱)	1				1	1	2	1	3	5	2	4
	マラリア	2	2	2	4	2	1		1	2			5
	三日熱	1	1	1	3	1				1			1
	卵形		1										1
	熱帯熱	1		1	1	1	1		1	1			3
	レジオネラ症			1	2	3	1	2	8	21	21	6	10
	アメーバ赤痢	2	7	6	12	8	18	17	17	22	20	14	18
五 類	腸管アメーバ症									14	20	16	13
	腸管外アメーバ症									3	2	2	5
	腸管及び腸管外アメーバ症											2	1
	ウイルス性肝炎	15	3	4	2	3	5	1	8	6	2	5	2
	B型肝炎	9	3	2	2	1	3	1	8	3	2	3	2
	C型肝炎	4		1		1	2			3		2	
	急性ウイルス性肝炎(その他)	1		1		1							
	急性ウイルス性肝炎(不明)	1											
	急性脳炎							1		5	1	6	9
	クリプトスポリジウム症										1		
	クロイツフェルト・ヤコブ病	3		2	5	2	4	2	6	3	2	2	3
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症			3	2	3		1	1			1	2
	後天性免疫不全症候群(注2)	5	6	6	9	11	21	9	25	22	21	22	17
	無症候性キャリア	3	2	4	4	7	16	4	14	11	11	11	8
	AIDS	2	3	2	4	2	2	3	8	7	6	10	6
	その他		1		1	2	3	2	3	4	4	1	3
	ジアルジア症	2	6	15	9	6			1	1	1	1	1
	髄膜炎菌性髄膜炎	1							1				
	梅毒	10	6	18	6	21	11	7	7	4	3	3	6
	早期顕症: I 期	2		6	2	3	2	1	1			1	1
	早期顕症: II 期	2	1	7	2	9	4	1	2			1	2
	晩期顕症			1		2	3	3	3	2	3		2
	先天			1									
	無症候	6	5	3	2	7	2	2	1	2		1	1
	破傷風		1	1	1	1	1	1	1	1			
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症							3	4	2	1	3	
	風しん									(注4)	1	1	
	麻しん									(注4)	106	4	2
(注5) 新型インフルエンザ												(注6) 81	

(注1) 診断年月日での集計結果であり、過去の事業報告書の結果とは異なる部分がある。

(注2) 後天性免疫不全症候群については、報告年月日での集計結果である。

(注3) 結核については、平成19年4月から二類感染症に追加された。

(注4) 風しん及び麻しんについては、平成20年1月から全数把握対象の五類感染症に追加された。

(注5) 分類名は、「新型インフルエンザ等」である。

(注6) 新型インフルエンザ(A/H1N1)について、平成21年4月29日から平成21年7月23日まで全数把握対象感染症に追加された。

《表-3》 定点数の年次推移

年\定点	インフルエンザ	小児科	眼 科	基 幹 ^{*1}	性感染症 ^{*2}	疑似症 ^{*3}
昭和57年		48	3	1		
昭和58年		48	3	1		
昭和59年		48	3	1		
昭和60年		48	3	1		
昭和61年		48	3	1		
昭和62年		46	3	6	10	
昭和63年		46	3	6	10	
平成元年		46	3	6	10	
平成2年		46	3	6	9	
平成3年		46	3	6	9	
平成4年		46	3	6	9	
平成5年		43	3	6	9	
平成6年		42	3	6	9	
平成7年		49	3	6	12	
平成8年		49	3	6	12	
平成9年		49	3	6	12	
平成10年		49	3	6	12	
平成11年3月まで		49	3	6	12	
平成11年4月から	68	41	10	1	13	
平成12年	68	41	10	1	13	
平成13年	68	41	10	1	13	
平成14年	68	41	10	1	13	
平成15年	68	41	10	1	13	
平成16年	68	41	10	1	13	
平成17年	68	41	10	1	13	
平成18年	68	41	10	1	13	
平成19年	68	41	10	1	13	
平成20年	68	41	10	1	13	90
平成21年	68	41	10	1	13	89
平成22年 ^{*4}	68(67)	41(40)	10	1	13	89(88)

* 1:平成11年3月までは病院定点である。

* 2:性器クラミジア感染症の定点数は、平成11年4月から平成14年までは東山区、下京区を除く11定点で、平成15年から平成16年までは下京区を除く12定点である。また、淋菌感染症の定点数は、平成11年4月から平成16年までは下京区を除く12定点である。

* 3:平成20年4月1日から指定。

* 4:平成22年11月1日(第44週)から、インフルエンザ定点67定点、小児科定点40定点、疑似症定点88定点である。

《表-4-1》 感染症別報告数の年次推移（定点把握対象五類感染症）

①インフルエンザ定点

年次	感染症名 インフルエンザ
平成15年	9,774
平成16年	8,260
平成17年	15,075
平成18年	6,977
平成19年	10,331
平成20年	4,704
平成21年	31,991
平成22年	2,139

②小児科定点

年次	感染症名	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん（注1）	ヘルパンギーナ	麻しん（成人麻しんを除く） （注1）	流行性耳下腺炎	合計（注2）
平成15年		4	232	791	11,009	1,986	1,423	143	1,116	19	39	1,098	74	614	18,544
平成16年		37	188	1,204	12,635	2,235	1,223	367	1,130	32	99	970	21	728	20,869
平成17年		53	137	961	12,858	2,322	438	273	991	17	14	1,319	8	1,932	21,323
平成18年		29	763	1,510	14,068	2,538	709	1,124	863	31	13	878	5	1,585	24,116
平成19年		164	213	1,425	11,113	2,127	512	387	828	35	10	1,113	15	487	18,429
平成20年		190	420	1,631	11,547	1,795	1,729	58	819	55		819		421	19,484
平成21年		158	107	1,272	9,852	1,608	513	65	797	29		581		522	15,504
平成22年		474	185	1,326	13,232	2,385	1,618	497	796	31		849		1,834	23,227

（注1）平成20年1月1日（1週）から全数把握対象感染症に変更となった。

（注2）平成15年の合計には、平成15年11月5日（45週）から追加されたRSウイルス感染症を含めていない。

《表-4-2》 感染症別報告数の年次推移（定点把握対象五類感染症）

③眼科定点

年次	感染症名	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	合計
平成15年		11	566	577
平成16年		8	313	321
平成17年		3	278	281
平成18年		-	327	327
平成19年		5	281	286
平成20年		5	273	278
平成21年		4	250	254
平成22年		1	263	264

④性感染症定点（注3）

年次	感染症名	性器クラミジア感染症	性器ヘルペスウイルス感染症	尖圭コンジローマ	淋菌感染症	合計
平成15年		230	107	28	48	413
平成16年		180	143	25	42	390
平成17年		215	149	20	41	425
平成18年		227	130	36	38	431
平成19年		224	122	31	32	409
平成20年		232	135	49	35	451
平成21年		233	114	42	42	431
平成22年		240	120	34	38	432

⑤基幹定点

年次	感染症名	急性脳炎（日本脳炎を除く） （注4）	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 （オウム病を除く）	成人麻しん（注5）	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	薬剤耐性緑膿菌感染症	合計
平成15年		-	1	-	9	-	-	6	-	-	16
平成16年			-	-	5	-	-	2	-	-	7
平成17年			-	-	2	-	-	-	-	-	2
平成18年			2	-	11	-	-	-	-	-	13
平成19年			-	-	4	-	-	1	-	-	5
平成20年			1	-	2	-		-	-	-	3
平成21年			-	-	-	-		-	-	-	-
平成22年			-	-	-	-		-	-	-	-

（注3）性器クラミジア感染症は、平成11年4月から平成14年までは東山区、下京区を除く11定点からの報告数で、平成15年から平成16年までは下京区を除く12定点からの報告数である。淋菌感染症は、平成11年4月から平成16年までは下京区を除く12定点である。

（注4）平成15年11月5日（45週）から全数把握対象感染症に変更となった。

（注5）平成20年1月1日（1週）から全数把握対象感染症に変更となった。

《表-5-1》 感染症別定点当たり報告数の年次推移（定点把握対象五類感染症）

①インフルエンザ定点

感染症名 年次	インフルエンザ
平成15年	143.74
平成16年	121.47
平成17年	221.69
平成18年	102.60
平成19年	151.93
平成20年	69.18
平成21年	470.46
平成22年	31.54
過去5年 平均値との比	0.16
前年比	0.07

②小児科定点

感染症名 年次	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん（成人麻しんを除く）	流行性耳下腺炎	合計（注6）
平成15年	0.10	5.66	19.29	268.51	48.44	34.71	3.49	27.22	0.46	0.95	26.78	1.80	14.98	452.29
平成16年	0.90	4.59	29.37	308.17	54.51	29.83	8.95	27.56	0.78	2.41	23.66	0.51	17.76	509.00
平成17年	1.29	3.34	23.44	313.61	56.63	10.68	6.66	24.17	0.41	0.34	32.17	0.20	47.12	520.07
平成18年	0.71	18.61	36.83	343.12	61.90	17.29	27.41	21.05	0.76	0.32	21.41	0.12	38.66	588.20
平成19年	4.00	5.20	34.76	271.05	51.88	12.49	9.44	20.20	0.85	0.24	27.15	0.37	11.88	449.49
平成20年	4.63	10.24	39.78	281.63	43.78	42.17	1.41	19.98	1.34		19.98		10.27	475.22
平成21年	3.85	2.61	31.02	240.29	39.22	12.51	1.59	19.44	0.71		14.17		12.73	378.15
平成22年	11.71	4.53	32.48	324.75	58.45	39.47	12.22	19.49	0.76		20.72		44.86	569.44
過去5年 平均値との比	4.04	0.57	0.98	1.12	1.15	2.07	1.31	0.93	0.93		0.90		1.86	-
前年比	3.04	1.73	1.05	1.35	1.49	3.15	7.71	1.00	1.07		1.46		3.52	1.51

（注6）平成15年の合計には、平成15年11月5日（45週）から追加されたRSウイルス感染症を含めていない。
過去5年平均値との比は、麻しん及び風しんが平成20年1月1日（1週）から全数把握対象感染症となったため、表示していない。

《表-5-2》 感染症別定点当たり報告数の年次推移（定点把握対象五類感染症）

③眼科定点

年次	感染症名	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	合計
平成15年		1.10	56.60	57.70
平成16年		0.80	31.30	32.10
平成17年		0.30	27.80	28.10
平成18年		－	32.70	32.70
平成19年		0.50	28.10	28.60
平成20年		0.50	27.30	27.80
平成21年		0.40	25.00	25.40
平成22年		0.10	26.30	26.40
過去5年平均値との比		0.29	0.93	0.93
前年比		0.25	1.05	1.04

④性感染症定点

感染症名 年次	性器クラミジア感染症	性器ヘルペスウイルス感染症	尖圭コンジローマ	淋菌感染症	合計
平成15年	19.17	8.23	2.15	4.00	33.55
平成16年	15.00	11.00	1.92	3.50	31.42
平成17年	16.54	11.46	1.54	3.15	32.69
平成18年	17.46	10.00	2.77	2.92	33.15
平成19年	17.23	9.38	2.38	2.46	31.46
平成20年	17.85	10.38	3.77	2.69	34.69
平成21年	17.92	8.77	3.23	3.23	33.15
平成22年	18.46	9.23	2.62	2.92	33.23
過去5年 平均値との比	1.06	0.92	0.96	1.01	1.01
前年比	1.03	1.05	0.81	0.90	1.00

⑤基幹定点

[illegible]

《表-6-1》 月別の報告数（定点把握対象五類感染症）

①インフルエンザ定点

感染症名 インフルエンザ	
月	
1月	1,378
2月	272
3月	77
4月	6
5月	12
6月	5
7月	3
8月	8
9月	4
10月	4
11月	88
12月	282
合計	2,139

②小児科定点

感染症名	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	合計
月												
1月	60	6	95	1,389	153	7	5	45	2	1	68	1,831
2月	86	7	191	1,535	182	22	12	46	—	5	109	2,195
3月	40	5	161	1,322	278	101	13	66	2	11	153	2,152
4月	16	5	139	1,248	179	110	18	63	2	10	155	1,945
5月	3	16	158	1,635	399	313	41	70	2	54	236	2,927
6月	1	31	121	842	305	372	55	72	3	136	195	2,133
7月	1	28	71	570	184	384	43	74	10	393	220	1,978
8月	5	22	54	536	101	202	48	87	3	139	201	1,398
9月	6	30	57	449	63	56	40	75	2	52	169	999
10月	16	10	54	400	81	34	61	72	2	21	118	869
11月	95	10	128	1,330	200	14	92	75	1	18	119	2,082
12月	145	15	97	1,976	260	3	69	51	2	9	91	2,718
合計	474	185	1,326	13,232	2,385	1,618	497	796	31	849	1,834	23,227

《表-6-2》 月別の報告数（定点把握対象五類感染症）

③眼科定点

感染症名 月	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	合計
1月	-	15	15
2月	-	15	15
3月	-	15	15
4月	-	18	18
5月	-	16	16
6月	-	17	17
7月	-	16	16
8月	1	41	42
9月	-	27	27
10月	-	28	28
11月	-	39	39
12月	-	16	16
合計	1	263	264

④性感染症定点

感染症名 月	性器クラミジア感染症	性器ヘルペスウイルス感染症	尖圭コンジローマ	淋菌感染症	合計
1月	19	9	6	6	40
2月	19	10	3	3	35
3月	24	15	3	8	50
4月	23	9	2	1	35
5月	15	11	1	3	30
6月	17	10	1	3	31
7月	17	12	6	2	37
8月	23	12	2	3	40
9月	15	7	2	2	26
10月	21	14	5	1	41
11月	27	5	1	3	36
12月	20	6	2	3	31
合計	240	120	34	38	432

⑤基幹定点

感染症名 月	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 （オウム病を除く）	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	薬剤耐性緑膿菌感染症	合計
1月	-	-	-	-	-	-	-	-
2月	-	-	-	-	-	-	-	-
3月	-	-	-	-	-	-	-	-
4月	-	-	-	-	-	-	-	-
5月	-	-	-	-	-	-	-	-
6月	-	-	-	-	-	-	-	-
7月	-	-	-	-	-	-	-	-
8月	-	-	-	-	-	-	-	-
9月	-	-	-	-	-	-	-	-
10月	-	-	-	-	-	-	-	-
11月	-	-	-	-	-	-	-	-
12月	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	-	-	-	-	-	-	-	-

《表-7-1》 月別の定点当たり報告数（定点把握対象五類感染症）

①インフルエンザ定点

感染症名 インフルエンザ	
月	
1月	20.26
2月	4.00
3月	1.13
4月	0.09
5月	0.18
6月	0.07
7月	0.04
8月	0.12
9月	0.06
10月	0.06
11月	1.31
12月	4.21
合計	31.54

②小児科定点

感染症名	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	合計
月												
1月	1.46	0.15	2.32	33.88	3.73	0.17	0.12	1.10	0.05	0.02	1.66	44.66
2月	2.10	0.17	4.66	37.44	4.44	0.54	0.29	1.12	-	0.12	2.66	53.54
3月	0.98	0.12	3.93	32.24	6.78	2.46	0.32	1.61	0.05	0.27	3.73	52.49
4月	0.39	0.12	3.39	30.44	4.37	2.68	0.44	1.54	0.05	0.24	3.78	47.44
5月	0.07	0.39	3.85	39.88	9.73	7.63	1.00	1.71	0.05	1.32	5.76	71.39
6月	0.02	0.76	2.95	20.54	7.44	9.07	1.34	1.76	0.07	3.32	4.76	52.02
7月	0.02	0.68	1.73	13.90	4.49	9.37	1.05	1.80	0.24	9.59	5.37	48.24
8月	0.12	0.54	1.32	13.07	2.46	4.93	1.17	2.12	0.07	3.39	4.90	34.10
9月	0.15	0.73	1.39	10.95	1.54	1.37	0.98	1.83	0.05	1.27	4.12	24.37
10月	0.39	0.24	1.32	9.76	1.98	0.83	1.49	1.76	0.05	0.51	2.88	21.20
11月	2.38	0.25	3.20	33.25	5.00	0.35	2.30	1.88	0.03	0.45	2.98	52.05
12月	3.63	0.38	2.43	49.40	6.50	0.08	1.73	1.28	0.05	0.23	2.28	67.95
合計	11.71	4.53	32.48	324.75	58.45	39.47	12.22	19.49	0.76	20.72	44.86	569.44

《表-7-2》 月別の定点当たり報告数（定点把握対象五類感染症）

③眼科定点

感染症名 月	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	合計
1月	-	1.50	1.50
2月	-	1.50	1.50
3月	-	1.50	1.50
4月	-	1.80	1.80
5月	-	1.60	1.60
6月	-	1.70	1.70
7月	-	1.60	1.60
8月	0.10	4.10	4.20
9月	-	2.70	2.70
10月	-	2.80	2.80
11月	-	3.90	3.90
12月	-	1.60	1.60
合計	0.10	26.30	26.40

④性感染症定点

感染症名 月	性器クラミジア感染症	性器ヘルペスウイルス感染症	尖圭コンジローマ	淋菌感染症	合計
1月	1.46	0.69	0.46	0.46	3.08
2月	1.46	0.77	0.23	0.23	2.69
3月	1.85	1.15	0.23	0.62	3.85
4月	1.77	0.69	0.15	0.08	2.69
5月	1.15	0.85	0.08	0.23	2.31
6月	1.31	0.77	0.08	0.23	2.38
7月	1.31	0.92	0.46	0.15	2.85
8月	1.77	0.92	0.15	0.23	3.08
9月	1.15	0.54	0.15	0.15	2.00
10月	1.62	1.08	0.38	0.08	3.15
11月	2.08	0.38	0.08	0.23	2.77
12月	1.54	0.46	0.15	0.23	2.38
合計	18.46	9.23	2.62	2.92	33.23

⑤基幹定点

感染症名 月	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 （オウム病を除く）	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	薬剤耐性緑膿菌感染症	合計
1月	-	-	-	-	-	-	-	-
2月	-	-	-	-	-	-	-	-
3月	-	-	-	-	-	-	-	-
4月	-	-	-	-	-	-	-	-
5月	-	-	-	-	-	-	-	-
6月	-	-	-	-	-	-	-	-
7月	-	-	-	-	-	-	-	-
8月	-	-	-	-	-	-	-	-
9月	-	-	-	-	-	-	-	-
10月	-	-	-	-	-	-	-	-
11月	-	-	-	-	-	-	-	-
12月	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	-	-	-	-	-	-	-	-

《表-8-1》 感染症別の月別割合(%) (定点把握対象五類感染症)

①インフルエンザ`定点

月	インフルエンザ
1月	64.4
2月	12.7
3月	3.6
4月	0.3
5月	0.6
6月	0.2
7月	0.1
8月	0.4
9月	0.2
10月	0.2
11月	4.1
12月	13.2
合計	100

②小兒科定点

[illegible]

《表-8-2》 感染症別の月別割合(%) (定点把握対象五類感染症)

③眼科定点

感染症名 月	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	全体
1月	-	5.7	5.7
2月	-	5.7	5.7
3月	-	5.7	5.7
4月	-	6.8	6.8
5月	-	6.1	6.1
6月	-	6.5	6.4
7月	-	6.1	6.1
8月	100	15.6	15.9
9月	-	10.3	10.2
10月	-	10.6	10.6
11月	-	14.8	14.8
12月	-	6.1	6.1
合計	100	100	100

④性感染症定点

感染症名 月	性器クラミジア感染症	性器ヘルペスウイルス感染症	尖圭コンジローマ	淋菌感染症	全体
1月	7.9	7.5	17.6	15.8	9.3
2月	7.9	8.3	8.8	7.9	8.1
3月	10.0	12.5	8.8	21.1	11.6
4月	9.6	7.5	5.9	2.6	8.1
5月	6.3	9.2	2.9	7.9	6.9
6月	7.1	8.3	2.9	7.9	7.2
7月	7.1	10.0	17.6	5.3	8.6
8月	9.6	10.0	5.9	7.9	9.3
9月	6.3	5.8	5.9	5.3	6.0
10月	8.8	11.7	14.7	2.6	9.5
11月	11.3	4.2	2.9	7.9	8.3
12月	8.3	5.0	5.9	7.9	7.2
合計	100	100	100	100	100

《表-9-1》 月別の感染症別割合(%) (定点把握対象五類感染症)

①小児科定点

感染症名 月	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	合計
1月	3.3	0.3	5.2	75.9	8.4	0.4	0.3	2.5	0.1	0.1	3.7	100
2月	3.9	0.3	8.7	69.9	8.3	1.0	0.5	2.1	—	0.2	5.0	100
3月	1.9	0.2	7.5	61.4	12.9	4.7	0.6	3.1	0.1	0.5	7.1	100
4月	0.8	0.3	7.1	64.2	9.2	5.7	0.9	3.2	0.1	0.5	8.0	100
5月	0.1	0.5	5.4	55.9	13.6	10.7	1.4	2.4	0.1	1.8	8.1	100
6月	0.1	1.5	5.7	39.5	14.3	17.4	2.6	3.4	0.1	6.4	9.1	100
7月	0.1	1.4	3.6	28.8	9.3	19.4	2.2	3.7	0.5	19.9	11.1	100
8月	0.4	1.6	3.9	38.3	7.2	14.4	3.4	6.2	0.2	9.9	14.4	100
9月	0.6	3.0	5.7	44.9	6.3	5.6	4.0	7.5	0.2	5.2	16.9	100
10月	1.8	1.2	6.2	46.0	9.3	3.9	7.0	8.3	0.2	2.4	13.6	100
11月	4.6	0.5	6.1	63.9	9.6	0.7	4.4	3.6	0.1	0.9	5.7	100
12月	5.3	0.6	3.6	72.7	9.6	0.1	2.5	1.9	0.1	0.3	3.3	100
合計	2.0	0.8	5.7	57.0	10.3	7.0	2.1	3.4	0.1	3.7	7.9	100

《表-9-2》 月別の感染症別割合(%) (定点把握対象五類感染症)

②眼科定点

感染症名 月	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	合計
1月	－	100	100
2月	－	100	100
3月	－	100	100
4月	－	100	100
5月	－	100	100
6月	－	100	100
7月	－	100	100
8月	2.4	97.6	100
9月	－	100	100
10月	－	100	100
11月	－	100	100
12月	－	100	100
合計	0.4	99.6	100

③性感染症定点

感染症名 月	性器クラミジア感染症	性器ヘルペスウイルス感染症	尖圭コンジローマ	淋菌感染症	合計
1月	47.5	22.5	15.0	15.0	100
2月	54.3	28.6	8.6	8.6	100
3月	48.0	30.0	6.0	16.0	100
4月	65.7	25.7	5.7	2.9	100
5月	50.0	36.7	3.3	10.0	100
6月	54.8	32.3	3.2	9.7	100
7月	45.9	32.4	16.2	5.4	100
8月	57.5	30.0	5.0	7.5	100
9月	57.7	26.9	7.7	7.7	100
10月	51.2	34.1	12.2	2.4	100
11月	75.0	13.9	2.8	8.3	100
12月	64.5	19.4	6.5	9.7	100
合計	55.6	27.8	7.9	8.8	100

《表-10》 小児科定点における月別の主要5感染症とその占める割合

(%)

	1位	2位	3位	4位	5位
1月	感染性胃腸炎 (75.9)	水痘 (8.4)	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (5.2)	流行性耳下腺炎 (3.7)	RSウイルス感染症 (3.3)
2月	感染性胃腸炎 (69.9)	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (8.7)	水痘 (8.3)	流行性耳下腺炎 (5.0)	RSウイルス感染症 (3.9)
3月	感染性胃腸炎 (61.4)	水痘 (12.9)	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (7.5)	流行性耳下腺炎 (7.1)	手足口病 (4.7)
4月	感染性胃腸炎 (64.2)	水痘 (9.2)	流行性耳下腺炎 (8.0)	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (7.1)	手足口病 (5.7)
5月	感染性胃腸炎 (55.9)	水痘 (13.6)	手足口病 (10.7)	流行性耳下腺炎 (8.1)	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (5.4)
6月	感染性胃腸炎 (39.5)	手足口病 (17.4)	水痘 (14.3)	流行性耳下腺炎 (9.1)	ヘルパンギーナ (6.4)
7月	感染性胃腸炎 (28.8)	ヘルパンギーナ (19.9)	手足口病 (19.4)	流行性耳下腺炎 (11.1)	水痘 (9.3)
8月	感染性胃腸炎 (38.3)	手足口病 (14.4)	流行性耳下腺炎 (14.4)	ヘルパンギーナ (9.9)	水痘 (7.2)
9月	感染性胃腸炎 (44.9)	流行性耳下腺炎 (16.9)	突発性発しん (7.5)	水痘 (6.3)	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (5.7)
10月	感染性胃腸炎 (46.0)	流行性耳下腺炎 (13.6)	水痘 (9.3)	突発性発しん (8.3)	伝染性紅斑 (7.0)
11月	感染性胃腸炎 (63.9)	水痘 (9.6)	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (6.1)	流行性耳下腺炎 (5.7)	RSウイルス感染症 (4.6)
12月	感染性胃腸炎 (72.7)	水痘 (9.6)	RSウイルス感染症 (5.3)	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (3.6)	流行性耳下腺炎 (3.3)
年間	感染性胃腸炎 (57.0)	水痘 (10.3)	流行性耳下腺炎 (7.9)	手足口病 (7.0)	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (5.7)

《表-11-1》 年齢階級別の報告数（定点把握対象五類感染症）

①インフルエンザ定点

感染症名 インフルエンザ	年 齢
-5箇月	6
-11箇月	39
1歳	66
2歳	52
3歳	83
4歳	95
5歳	98
6歳	123
7歳	75
8歳	87
9歳	65
10-14歳	243
15-19歳	135
20-29歳	411
30-39歳	278
40-49歳	145
50-59歳	84
60-69歳	30
70-79歳	16
80歳以上	8
合計	2,139

②小児科定点

感染症名	R S ウイルス感染症	咽 頭 結 膜 熱	A 群 溶 血 性 レン サ 球 菌 咽 頭 炎	感 染 性 胃 腸 炎	水 痘	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	百 日 咳	ヘル パン ギー ナ	流 行 性 耳 下 腺 炎	合 計
年 齢												
-5箇月	83	-	4	183	50	7	2	34	3	6	2	374
-11箇月	99	11	8	905	146	82	12	361	1	65	5	1,695
1歳	160	46	47	2,091	518	383	29	364	4	230	68	3,940
2歳	73	34	64	1,507	519	338	34	24	1	198	156	2,948
3歳	33	33	123	1,300	383	208	71	5	3	117	267	2,543
4歳	13	16	132	1,126	340	180	60	6	2	91	310	2,276
5歳	8	14	161	974	189	168	75	1	-	53	305	1,948
6歳	1	12	186	787	97	91	61	-	2	26	225	1,488
7歳	2	3	137	617	36	45	58	-	-	19	136	1,053
8歳	1	6	116	473	36	27	39	-	1	13	108	820
9歳	-	2	93	409	28	26	21	-	2	8	79	668
10-14歳	-	3	160	1,249	33	48	26	1	6	16	108	1,650
15-19歳	-	-	18	268	3	2	1	-	1	2	11	306
20歳以上	1	5	77	1,343	7	13	8	-	5	5	54	1,518
合計	474	185	1,326	13,232	2,385	1,618	497	796	31	849	1,834	23,227

《表-11-2》 年齢階級別の報告数（定点把握対象五類感染症）

③眼科定点

感染症名 年 齢	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	合計
-5箇月	-	1	1
-11箇月	-	3	3
1歳	-	8	8
2歳	-	11	11
3歳	-	12	12
4歳	-	7	7
5歳	-	4	4
6歳	-	-	-
7歳	-	1	1
8歳	-	4	4
9歳	-	3	3
10-14歳	-	8	8
15-19歳	1	6	7
20-29歳	-	46	46
30-39歳	-	53	53
40-49歳	-	31	31
50-59歳	-	14	14
60-69歳	-	24	24
70歳以上	-	27	27
合計	1	263	264

④性感染症定点

感染症名 年 齢	性器クラミジア感染症	性器ヘルペスウイルス感染症	尖圭コンジローマ	淋菌感染症	合計
0歳	-	-	-	-	-
1-4歳	-	-	-	-	-
5-9歳	-	-	-	-	-
10-14歳	-	-	-	1	1
15-19歳	36	6	-	4	46
20-24歳	84	18	13	13	128
25-29歳	45	25	7	9	86
30-34歳	33	16	3	5	57
35-39歳	24	16	6	4	50
40-44歳	12	16	-	1	29
45-49歳	1	5	2	-	8
50-54歳	5	4	-	-	9
55-59歳	-	6	-	1	7
60-64歳	-	1	-	-	1
65-69歳	-	2	-	-	2
70歳以上	-	5	3	-	8
合計	240	120	34	38	432

⑤基幹定点

感染症名 年 齢	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 （オウム病を除く）	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	薬剤耐性緑膿菌感染症	合計
0歳	-	-	-	-	-	-	-	-
1-4歳	-	-	-	-	-	-	-	-
5-9歳	-	-	-	-	-	-	-	-
10-14歳	-	-	-	-	-	-	-	-
15-19歳	-	-	-	-	-	-	-	-
20-24歳	-	-	-	-	-	-	-	-
25-29歳	-	-	-	-	-	-	-	-
30-34歳	-	-	-	-	-	-	-	-
35-39歳	-	-	-	-	-	-	-	-
40-44歳	-	-	-	-	-	-	-	-
45-49歳	-	-	-	-	-	-	-	-
50-54歳	-	-	-	-	-	-	-	-
55-59歳	-	-	-	-	-	-	-	-
60-64歳	-	-	-	-	-	-	-	-
65-69歳	-	-	-	-	-	-	-	-
70歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	-	-	-	-	-	-	-	-

《表-12-1》 年齢階級別の定点当たり報告数（定点把握対象五類感染症）

①インフルエンザ定点

感染症名 年齢	インフルエンザ
-5箇月	0.09
-11箇月	0.57
1歳	0.97
2歳	0.77
3歳	1.22
4歳	1.40
5歳	1.44
6歳	1.82
7歳	1.11
8歳	1.28
9歳	0.96
10-14歳	3.58
15-19歳	1.99
20-29歳	6.05
30-39歳	4.10
40-49歳	2.14
50-59歳	1.24
60-69歳	0.44
70-79歳	0.24
80歳以上	0.12
合計	31.54

②小児科定点

感染症名 年齢	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	合計
-5箇月	2.05	-	0.10	4.50	1.23	0.17	0.05	0.83	0.07	0.15	0.05	9.19
-11箇月	2.44	0.27	0.20	22.21	3.58	2.00	0.29	8.84	0.02	1.59	0.12	41.57
1歳	3.95	1.12	1.15	51.29	12.69	9.35	0.71	8.91	0.10	5.61	1.66	96.56
2歳	1.80	0.83	1.57	37.00	12.74	8.24	0.84	0.59	0.02	4.83	3.82	72.28
3歳	0.82	0.81	3.01	31.93	9.38	5.07	1.74	0.12	0.07	2.85	6.53	62.34
4歳	0.32	0.39	3.23	27.66	8.33	4.39	1.48	0.15	0.05	2.22	7.57	55.80
5歳	0.20	0.34	3.95	23.92	4.63	4.10	1.84	0.03	-	1.29	7.46	47.75
6歳	0.03	0.30	4.55	19.31	2.38	2.22	1.50	-	0.05	0.63	5.51	36.48
7歳	0.05	0.07	3.36	15.14	0.88	1.10	1.42	-	-	0.46	3.33	25.81
8歳	0.03	0.15	2.84	11.61	0.88	0.66	0.96	-	0.02	0.32	2.64	20.11
9歳	-	0.05	2.28	10.03	0.69	0.63	0.52	-	0.05	0.20	1.94	16.38
10-14歳	-	0.07	3.92	30.63	0.81	1.17	0.64	0.02	0.15	0.39	2.64	40.44
15-19歳	-	-	0.44	6.57	0.07	0.05	0.02	-	0.02	0.05	0.27	7.50
20歳以上	0.02	0.12	1.88	32.96	0.17	0.32	0.20	-	0.12	0.12	1.32	37.25
合計	11.71	4.53	32.48	324.75	58.45	39.47	12.22	19.49	0.76	20.72	44.86	569.44

《表-12-2》 年齢階級別の定点当たり報告数（定点把握対象五類感染症）

③眼科定点

感染症名 年 齢	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	合計
-5箇月	-	0.10	0.10
-11箇月	-	0.30	0.30
1歳	-	0.80	0.80
2歳	-	1.10	1.10
3歳	-	1.20	1.20
4歳	-	0.70	0.70
5歳	-	0.40	0.40
6歳	-	-	-
7歳	-	0.10	0.10
8歳	-	0.40	0.40
9歳	-	0.30	0.30
10-14歳	-	0.80	0.80
15-19歳	0.10	0.60	0.70
20-29歳	-	4.60	4.60
30-39歳	-	5.30	5.30
40-49歳	-	3.10	3.10
50-59歳	-	1.40	1.40
60-69歳	-	2.40	2.40
70歳以上	-	2.70	2.70
合計	0.10	26.30	26.40

④性感染症定点

感染症名 年 齢	性器クラミジア感染症	性器ヘルペスウイルス感染症	尖圭コンジローマ	淋菌感染症	合計
0歳	-	-	-	-	-
1-4歳	-	-	-	-	-
5-9歳	-	-	-	-	-
10-14歳	-	-	-	0.08	0.08
15-19歳	2.77	0.46	-	0.31	3.54
20-24歳	6.46	1.38	1.00	1.00	9.85
25-29歳	3.46	1.92	0.54	0.69	6.62
30-34歳	2.54	1.23	0.23	0.38	4.38
35-39歳	1.85	1.23	0.46	0.31	3.85
40-44歳	0.92	1.23	-	0.08	2.23
45-49歳	0.08	0.38	0.15	-	0.62
50-54歳	0.38	0.31	-	-	0.69
55-59歳	-	0.46	-	0.08	0.54
60-64歳	-	0.08	-	-	0.08
65-69歳	-	0.15	-	-	0.15
70歳以上	-	0.38	0.23	-	0.62
合計	18.46	9.23	2.62	2.92	33.23

⑤基幹定点

感染症名 年 齢	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 （オウム病を除く）	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	薬剤耐性緑膿菌感染症	合計
0歳	-	-	-	-	-	-	-	-
1-4歳	-	-	-	-	-	-	-	-
5-9歳	-	-	-	-	-	-	-	-
10-14歳	-	-	-	-	-	-	-	-
15-19歳	-	-	-	-	-	-	-	-
20-24歳	-	-	-	-	-	-	-	-
25-29歳	-	-	-	-	-	-	-	-
30-34歳	-	-	-	-	-	-	-	-
35-39歳	-	-	-	-	-	-	-	-
40-44歳	-	-	-	-	-	-	-	-
45-49歳	-	-	-	-	-	-	-	-
50-54歳	-	-	-	-	-	-	-	-
55-59歳	-	-	-	-	-	-	-	-
60-64歳	-	-	-	-	-	-	-	-
65-69歳	-	-	-	-	-	-	-	-
70歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	-	-	-	-	-	-	-	-

《表-13-1》 感染症別の年齢階級別割合(%) (定点把握対象五類感染症)

①インフルエンザ`定点

年齢	感染症名	インフルエンザ
-5箇月		0.3
-11箇月		1.8
1歳		3.1
2歳		2.4
3歳		3.9
4歳		4.4
5歳		4.6
6歳		5.8
7歳		3.5
8歳		4.1
9歳		3.0
10-14歳		11.4
15-19歳		6.3
20-29歳		19.2
30-39歳		13.0
40-49歳		6.8
50-59歳		3.9
60-69歳		1.4
70-79歳		0.7
80歳以上		0.4
合計		100

②小児科定点

[illegible]

《表-13-2》 感染症別の年齢階級別割合(%) (定点把握対象五類感染症)

③眼科定点

感染症名 年齢	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	全体
-5箇月	-	0.4	0.4
-11箇月	-	1.1	1.1
1歳	-	3.0	3.0
2歳	-	4.2	4.2
3歳	-	4.6	4.5
4歳	-	2.7	2.7
5歳	-	1.5	1.5
6歳	-	-	-
7歳	-	0.4	0.4
8歳	-	1.5	1.5
9歳	-	1.1	1.1
10-14歳	-	3.0	3.0
15-19歳	100	2.3	2.7
20-29歳	-	17.5	17.4
30-39歳	-	20.2	20.1
40-49歳	-	11.8	11.7
50-59歳	-	5.3	5.3
60-69歳	-	9.1	9.1
70歳以上	-	10.3	10.2
合計	100	100	100

④性感染症定点

感染症名 年齢	性器クラミジア感染症	性器ヘルペスウイルス感染症	尖圭コンジローマ	淋菌感染症	全体
0歳	-	-	-	-	-
1-4歳	-	-	-	-	-
5-9歳	-	-	-	-	-
10-14歳	-	-	-	2.6	0.2
15-19歳	15.0	5.0	-	10.5	10.6
20-24歳	35.0	15.0	38.2	34.2	29.6
25-29歳	18.8	20.8	20.6	23.7	19.9
30-34歳	13.8	13.3	8.8	13.2	13.2
35-39歳	10.0	13.3	17.6	10.5	11.6
40-44歳	5.0	13.3	-	2.6	6.7
45-49歳	0.4	4.2	5.9	-	1.9
50-54歳	2.1	3.3	-	-	2.1
55-59歳	-	5.0	-	2.6	1.6
60-64歳	-	0.8	-	-	0.2
65-69歳	-	1.7	-	-	0.5
70歳以上	-	4.2	8.8	-	1.9
合計	100	100	100	100	100

⑤基幹定点

感染症名 年齢	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	薬剤耐性緑膿菌感染症	全体
0歳	-	-	-	-	-	-	-	-
1-4歳	-	-	-	-	-	-	-	-
5-9歳	-	-	-	-	-	-	-	-
10-14歳	-	-	-	-	-	-	-	-
15-19歳	-	-	-	-	-	-	-	-
20-24歳	-	-	-	-	-	-	-	-
25-29歳	-	-	-	-	-	-	-	-
30-34歳	-	-	-	-	-	-	-	-
35-39歳	-	-	-	-	-	-	-	-
40-44歳	-	-	-	-	-	-	-	-
45-49歳	-	-	-	-	-	-	-	-
50-54歳	-	-	-	-	-	-	-	-
55-59歳	-	-	-	-	-	-	-	-
60-64歳	-	-	-	-	-	-	-	-
65-69歳	-	-	-	-	-	-	-	-
70歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	-	-	-	-	-	-	-	-

《表-14-1》 年齢階級別の感染症別割合(%) (定点把握対象五類感染症)

①小児科定点

感染症名 年齢	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	合計
-5箇月	22.2	-	1.1	48.9	13.4	1.9	0.5	9.1	0.8	1.6	0.5	100
-11箇月	5.8	0.6	0.5	53.4	8.6	4.8	0.7	21.3	0.1	3.8	0.3	100
1歳	4.1	1.2	1.2	53.1	13.1	9.7	0.7	9.2	0.1	5.8	1.7	100
2歳	2.5	1.2	2.2	51.1	17.6	11.5	1.2	0.8	0.03	6.7	5.3	100
3歳	1.3	1.3	4.8	51.1	15.1	8.2	2.8	0.2	0.1	4.6	10.5	100
4歳	0.6	0.7	5.8	49.5	14.9	7.9	2.6	0.3	0.1	4.0	13.6	100
5歳	0.4	0.7	8.3	50.0	9.7	8.6	3.9	0.1	-	2.7	15.7	100
6歳	0.1	0.8	12.5	52.9	6.5	6.1	4.1	-	0.1	1.7	15.1	100
7歳	0.2	0.3	13.0	58.6	3.4	4.3	5.5	-	-	1.8	12.9	100
8歳	0.1	0.7	14.1	57.7	4.4	3.3	4.8	-	0.1	1.6	13.2	100
9歳	-	0.3	13.9	61.2	4.2	3.9	3.1	-	0.3	1.2	11.8	100
10-14歳	-	0.2	9.7	75.7	2.0	2.9	1.6	0.1	0.4	1.0	6.5	100
15-19歳	-	-	5.9	87.6	1.0	0.7	0.3	-	0.3	0.7	3.6	100
20歳以上	0.1	0.3	5.1	88.5	0.5	0.9	0.5	-	0.3	0.3	3.6	100
全体	2.0	0.8	5.7	57.0	10.3	7.0	2.1	3.4	0.1	3.7	7.9	100

《表-14-2》 年齢階級別の感染症別割合(%) (定点把握対象五類感染症)

②眼科定点

感染症名 年 齢	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	合計
-5箇月	-	100	100
-11箇月	-	100	100
1歳	-	100	100
2歳	-	100	100
3歳	-	100	100
4歳	-	100	100
5歳	-	100	100
6歳	-	-	-
7歳	-	100	100
8歳	-	100	100
9歳	-	100	100
10-14歳	-	100	100
15-19歳	14.3	85.7	100
20-29歳	-	100	100
30-39歳	-	100	100
40-49歳	-	100	100
50-59歳	-	100	100
60-69歳	-	100	100
70歳以上	-	100	100
全体	0.4	99.6	100

③性感染症定点

感染症名 年 齢	性器クラミジア感染症	性器ヘルペスウイルス感染症	尖圭コンジローマ	淋菌感染症	合計
0歳	-	-	-	-	-
1-4歳	-	-	-	-	-
5-9歳	-	-	-	-	-
10-14歳	-	-	-	100	100
15-19歳	78.3	13.0	-	8.7	100
20-24歳	65.6	14.1	10.2	10.2	100
25-29歳	52.3	29.1	8.1	10.5	100
30-34歳	57.9	28.1	5.3	8.8	100
35-39歳	48.0	32.0	12.0	8.0	100
40-44歳	41.4	55.2	-	3.4	100
45-49歳	12.5	62.5	25.0	-	100
50-54歳	55.6	44.4	-	-	100
55-59歳	-	85.7	-	14.3	100
60-64歳	-	100	-	-	100
65-69歳	-	100	-	-	100
70歳以上	-	62.5	37.5	-	100
全体	55.6	27.8	7.9	8.8	100

④基幹定点

感染症名 年 齢	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	薬剤耐性緑膿菌感染症	合計
0歳	-	-	-	-	-	-	-	-
1-4歳	-	-	-	-	-	-	-	-
5-9歳	-	-	-	-	-	-	-	-
10-14歳	-	-	-	-	-	-	-	-
15-19歳	-	-	-	-	-	-	-	-
20-24歳	-	-	-	-	-	-	-	-
25-29歳	-	-	-	-	-	-	-	-
30-34歳	-	-	-	-	-	-	-	-
35-39歳	-	-	-	-	-	-	-	-
40-44歳	-	-	-	-	-	-	-	-
45-49歳	-	-	-	-	-	-	-	-
50-54歳	-	-	-	-	-	-	-	-
55-59歳	-	-	-	-	-	-	-	-
60-64歳	-	-	-	-	-	-	-	-
65-69歳	-	-	-	-	-	-	-	-
70歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-
全体	-	-	-	-	-	-	-	-

《表-15-1》 行政区別の報告数（定点把握対象五類感染症）

①インフルエンザ定点

感染症名 行政区	インフルエンザ
北	171
上京	165
左京	87
中京	216
東山	139
山科	207
下京	121
南	306
右京	148
伏見	292
西京	287
合計	2,139

②小児科定点

感染症名 行政区	R S ウイルス感染症	咽 頭 結 膜 熱	A 群 溶 血 性 レ ン サ 球 菌 咽 頭 炎	感 染 性 胃 腸 炎	水 痘	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	百 日 咳	ヘル パ ン ギ ー ナ	流 行 性 耳 下 腺 炎	合 計
北	91	15	52	463	84	48	23	21	2	19	79	897
上京	37	1	187	675	132	108	56	48	—	58	36	1,338
左京	13	2	93	570	64	86	26	42	2	27	82	1,007
中京	78	6	56	1,010	117	96	46	32	4	65	94	1,604
東山	29	7	21	1,419	131	76	10	25	8	15	107	1,848
山科	17	2	75	637	136	69	36	50	—	74	182	1,278
下京	3	—	42	51	17	17	6	2	1	2	10	151
南	6	45	211	1,939	448	353	60	91	1	250	236	3,640
右京	—	2	73	1,042	195	179	37	117	4	31	97	1,777
伏見	193	81	220	2,816	712	384	116	241	9	191	744	5,707
西京	7	24	296	2,610	349	202	81	127	—	117	167	3,980
合計	474	185	1,326	13,232	2,385	1,618	497	796	31	849	1,834	23,227

《表-15-2》 行政区別の報告数（定点把握対象五類感染症）

③眼科定点

感染症名 行政区	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	合計
北	1	-	1
上京	-	1	1
左京	-	2	2
中京	-	76	76
東山			
山科	-	44	44
下京			
南			
右京	-	112	112
伏見	-	19	19
西京	-	9	9
合計	1	263	264

④性感染症定点

感染症名 行政区	性器クラミジア感染症	性器ヘルペスウイルス感染症	尖圭コンジローマ	淋菌感染症	合計
北	16	6	1	1	24
上京	6	-	-	2	8
左京	5	3	1	3	12
中京	91	49	5	15	160
東山	48	31	13	6	98
山科	20	1	4	3	28
下京	15	13	1	3	32
南	19	7	5	2	33
右京	1	2	-	-	3
伏見	6	7	1	2	16
西京	13	1	3	1	18
合計	240	120	34	38	432

⑤基幹定点

感染症名 行政区	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 （オウム病を除く）	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	薬剤耐性緑膿菌感染症	合計
北								
上京								
左京								
中京	-	-	-	-	-	-	-	-
東山								
山科								
下京								
南								
右京								
伏見								
西京								
合計	-	-	-	-	-	-	-	-

《表-16-1》 行政区別の定点当たり報告数（定点把握対象五類感染症）

①インフルエンザ定点

感染症名 行政区	インフルエンザ
北	24.43
上京	33.00
左京	13.31
中京	43.20
東山	46.33
山科	29.57
下京	40.33
南	61.20
右京	18.50
伏見	26.55
西京	41.00
全体	31.54

②小児科定点

感染症名 行政区	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	合計
北	22.75	3.75	13.00	115.75	21.00	12.00	5.75	5.25	0.50	4.75	19.75	224.25
上京	12.33	0.33	62.33	225.00	44.00	36.00	18.67	16.00	－	19.33	12.00	446.00
左京	3.58	0.50	24.67	149.33	16.83	21.58	7.08	10.58	0.50	6.75	22.25	263.67
中京	26.00	2.00	18.67	336.67	39.00	32.00	15.33	10.67	1.33	21.67	31.33	534.67
東山	14.50	3.50	10.50	709.50	65.50	38.00	5.00	12.50	4.00	7.50	53.50	924.00
山科	4.25	0.50	18.75	159.25	34.00	17.25	9.00	12.50	－	18.50	45.50	319.50
下京	1.50	－	21.00	25.50	8.50	8.50	3.00	1.00	0.50	1.00	5.00	75.50
南	2.00	15.00	70.33	646.33	149.33	117.67	20.00	30.33	0.33	83.33	78.67	1,213.33
右京	－	0.40	14.60	208.40	39.00	35.80	7.40	23.40	0.80	6.20	19.40	355.40
伏見	27.57	11.57	31.43	402.29	101.71	54.86	16.57	34.43	1.29	27.29	106.29	815.29
西京	1.75	6.00	74.00	652.50	87.25	50.50	20.25	31.75	－	29.25	41.75	995.00
全体	11.71	4.53	32.48	324.75	58.45	39.47	12.22	19.49	0.76	20.72	44.86	569.44

《表-16-2》 行政区別の定点当たり報告数（定点把握対象五類感染症）

③眼科定点

感染症名 行政区	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	合計
北	1.00	-	1.00
上京	-	1.00	1.00
左京	-	2.00	2.00
中京	-	38.00	38.00
東山			
山科	-	44.00	44.00
下京			
南			
右京	-	112.00	112.00
伏見	-	9.50	9.50
西京	-	9.00	9.00
全体	0.10	26.30	26.40

④性感染症定点

感染症名 行政区	性器クラミジア感染症	性器ヘルペスウイルス感染症	尖圭コンジローマ	淋菌感染症	合計
北	16.00	6.00	1.00	1.00	24.00
上京	6.00	-	-	2.00	8.00
左京	5.00	3.00	1.00	3.00	12.00
中京	45.50	24.50	2.50	7.50	80.00
東山	48.00	31.00	13.00	6.00	98.00
山科	20.00	1.00	4.00	3.00	28.00
下京	15.00	13.00	1.00	3.00	32.00
南	19.00	7.00	5.00	2.00	33.00
右京	1.00	2.00	-	-	3.00
伏見	3.00	3.50	0.50	1.00	8.00
西京	13.00	1.00	3.00	1.00	18.00
全体	18.46	9.23	2.62	2.92	33.23

⑤基幹定点

感染症名 行政区	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 （オウム病を除く）	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	薬剤耐性緑膿菌感染症	合計
北								
上京								
左京								
中京	-	-	-	-	-	-	-	-
東山								
山科								
下京								
南								
右京								
伏見								
西京								
全体	-	-	-	-	-	-	-	-

《表-17-1》 感染症別の行政区別割合(%) (定点把握対象五類感染症)

①インフルエンザ定点

②小兒科定点

行政区	感染症名	インフルエンザ
北		8.0
上京		7.7
左京		4.1
中京		10.1
東山		6.5
山科		9.7
下京		5.7
南		14.3
右京		6.9
伏見		13.7
西京		13.4
合計		100

[illegible]

《表-17-2》 感染症別の行政区別割合(%) (定点把握対象五類感染症)

③眼科定点

感染症名 行政区	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	全体
北	100	-	0.4
上京	-	0.4	0.4
左京	-	0.8	0.8
中京	-	28.9	28.8
東山			
山科	-	16.7	16.7
下京			
南			
右京	-	42.6	42.4
伏見	-	7.2	7.2
西京	-	3.4	3.4
合計	100	100	100

④性感染症定点

感染症名 行政区	性器クラミジア感染症	性器ヘルペスウイルス感染症	尖圭コンジローマ	淋菌感染症	全体
北	6.7	5.0	2.9	2.6	5.6
上京	2.5	-	-	5.3	1.9
左京	2.1	2.5	2.9	7.9	2.8
中京	37.9	40.8	14.7	39.5	37.0
東山	20.0	25.8	38.2	15.8	22.7
山科	8.3	0.8	11.8	7.9	6.5
下京	6.3	10.8	2.9	7.9	7.4
南	7.9	5.8	14.7	5.3	7.6
右京	0.4	1.7	-	-	0.7
伏見	2.5	5.8	2.9	5.3	3.7
西京	5.4	0.8	8.8	2.6	4.2
合計	100	100	100	100	100

《表-18-1》 行政区別の感染症別割合(%) (定点把握対象五類感染症)

①小児科定点

感染症名 行政区	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	合計
北	10.1	1.7	5.8	51.6	9.4	5.4	2.6	2.3	0.2	2.1	8.8	100
上京	2.8	0.1	14.0	50.4	9.9	8.1	4.2	3.6	－	4.3	2.7	100
左京	1.3	0.2	9.2	56.6	6.4	8.5	2.6	4.2	0.2	2.7	8.1	100
中京	4.9	0.4	3.5	63.0	7.3	6.0	2.9	2.0	0.2	4.1	5.9	100
東山	1.6	0.4	1.1	76.8	7.1	4.1	0.5	1.4	0.4	0.8	5.8	100
山科	1.3	0.2	5.9	49.8	10.6	5.4	2.8	3.9	－	5.8	14.2	100
下京	2.0	－	27.8	33.8	11.3	11.3	4.0	1.3	0.7	1.3	6.6	100
南	0.2	1.2	5.8	53.3	12.3	9.7	1.6	2.5	0.03	6.9	6.5	100
右京	－	0.1	4.1	58.6	11.0	10.1	2.1	6.6	0.2	1.7	5.5	100
伏見	3.4	1.4	3.9	49.3	12.5	6.7	2.0	4.2	0.2	3.3	13.0	100
西京	0.2	0.6	7.4	65.6	8.8	5.1	2.0	3.2	－	2.9	4.2	100
全体	2.0	0.8	5.7	57.0	10.3	7.0	2.1	3.4	0.1	3.7	7.9	100

《表-18-2》 行政区別の感染症別割合(%) (定点把握対象五類感染症)

②眼科定点

感染症名 行政区	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	合計
北	100	-	100
上京	-	100	100
左京	-	100	100
中京	-	100	100
東山			
山科	-	100	100
下京			
南			
右京	-	100	100
伏見	-	100	100
西京	-	100	100
全体	0.4	99.6	100

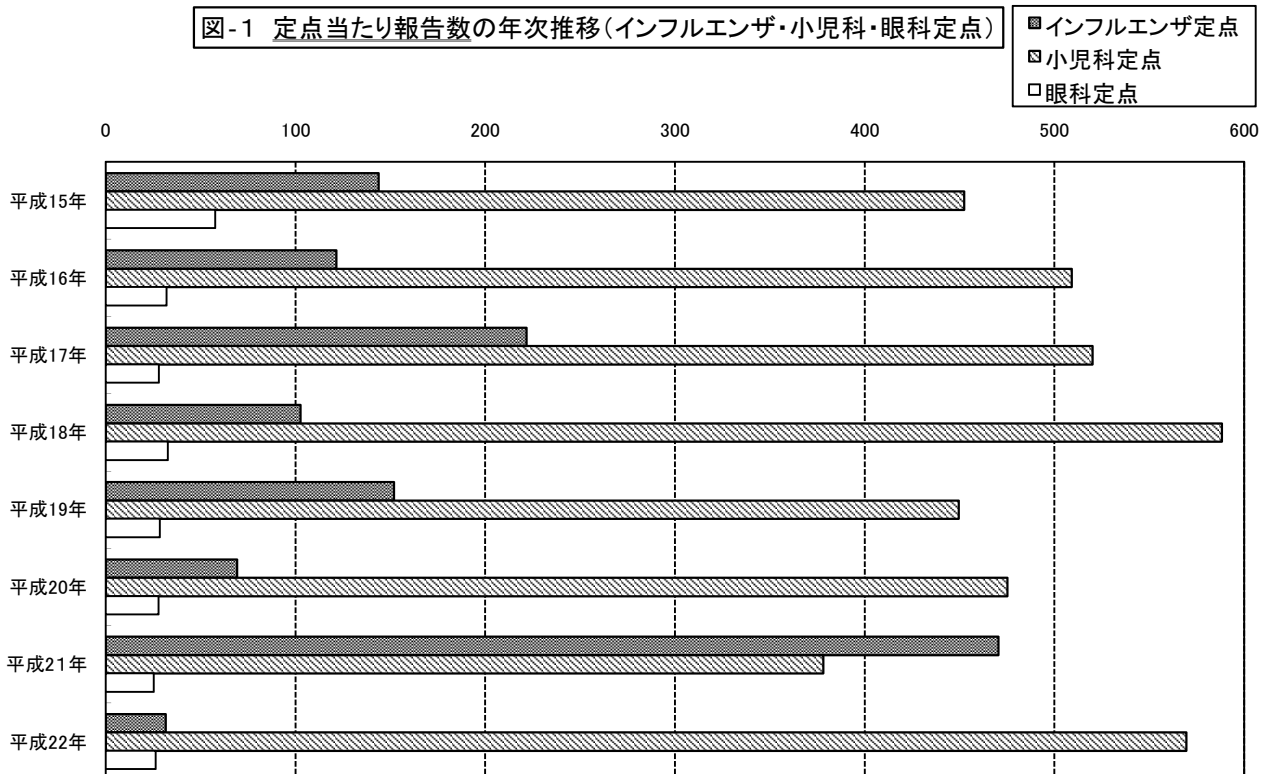
③性感染症定点

感染症名 行政区	性器クラミジア感染症	性器ヘルペスウイルス感染症	尖圭コンジローマ	淋菌感染症	合計
北	66.7	25.0	4.2	4.2	100
上京	75.0	-	-	25.0	100
左京	41.7	25.0	8.3	25.0	100
中京	56.9	30.6	3.1	9.4	100
東山	49.0	31.6	13.3	6.1	100
山科	71.4	3.6	14.3	10.7	100
下京	46.9	40.6	3.1	9.4	100
南	57.6	21.2	15.2	6.1	100
右京	33.3	66.7	-	-	100
伏見	37.5	43.8	6.3	12.5	100
西京	72.2	5.6	16.7	5.6	100
全体	55.6	27.8	7.9	8.8	100

④基幹定点

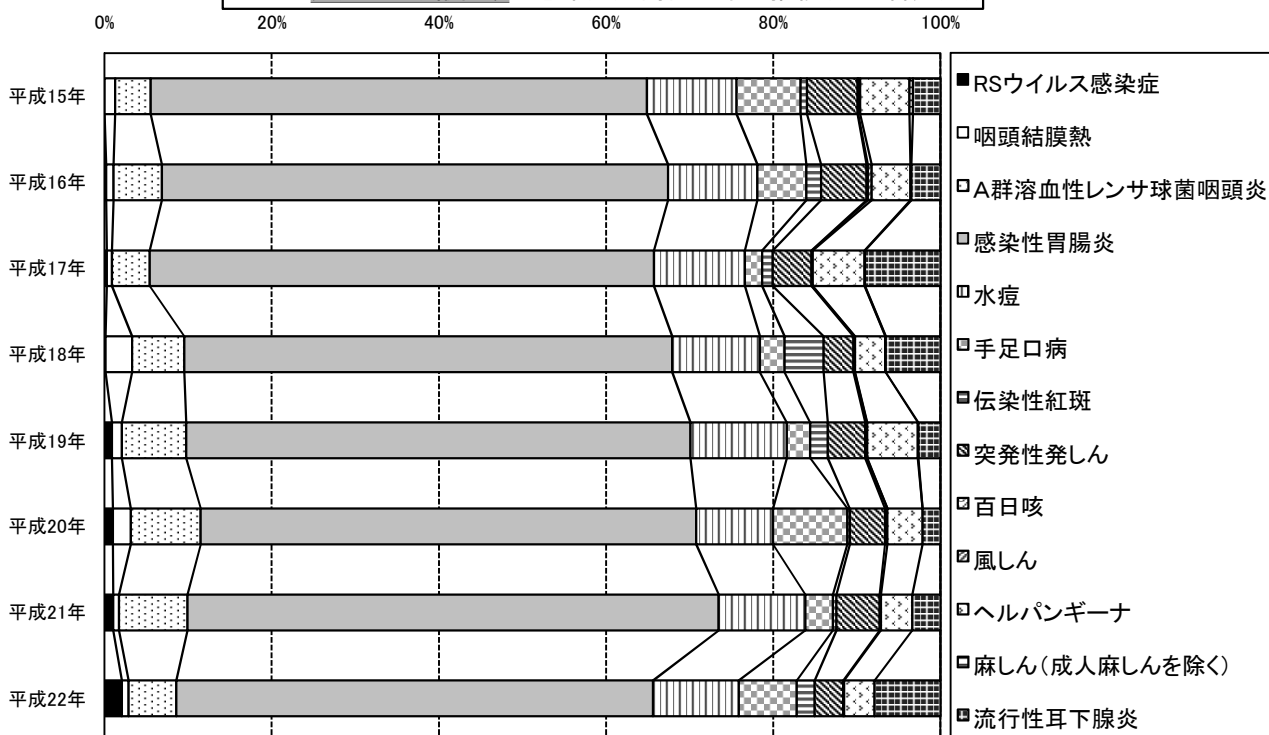
感染症名 行政区	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	薬剤耐性緑膿菌感染症	合計
北								
上京								
左京								
中京	-	-	-	-	-	-	-	-
東山								
山科								
下京								
南								
右京								
伏見								
西京								
全体	-	-	-	-	-	-	-	-

図-1 定点当たり報告数の年次推移(インフルエンザ・小児科・眼科定点)



注) 平成16年から小児科定点にRSウイルス感染症を含む
 注) 平成20年から小児科定点から風しん及び麻しんを除く

図-2 定点当たり報告数の感染症別割合の年次推移(小児科定点)



注) 平成16年からRSウイルス感染症を含む
 注) 平成20年から小児科定点から風しん及び麻しんを除く

図-3 月別の定点当たり報告数(インフルエンザ・小児科・眼科定点)

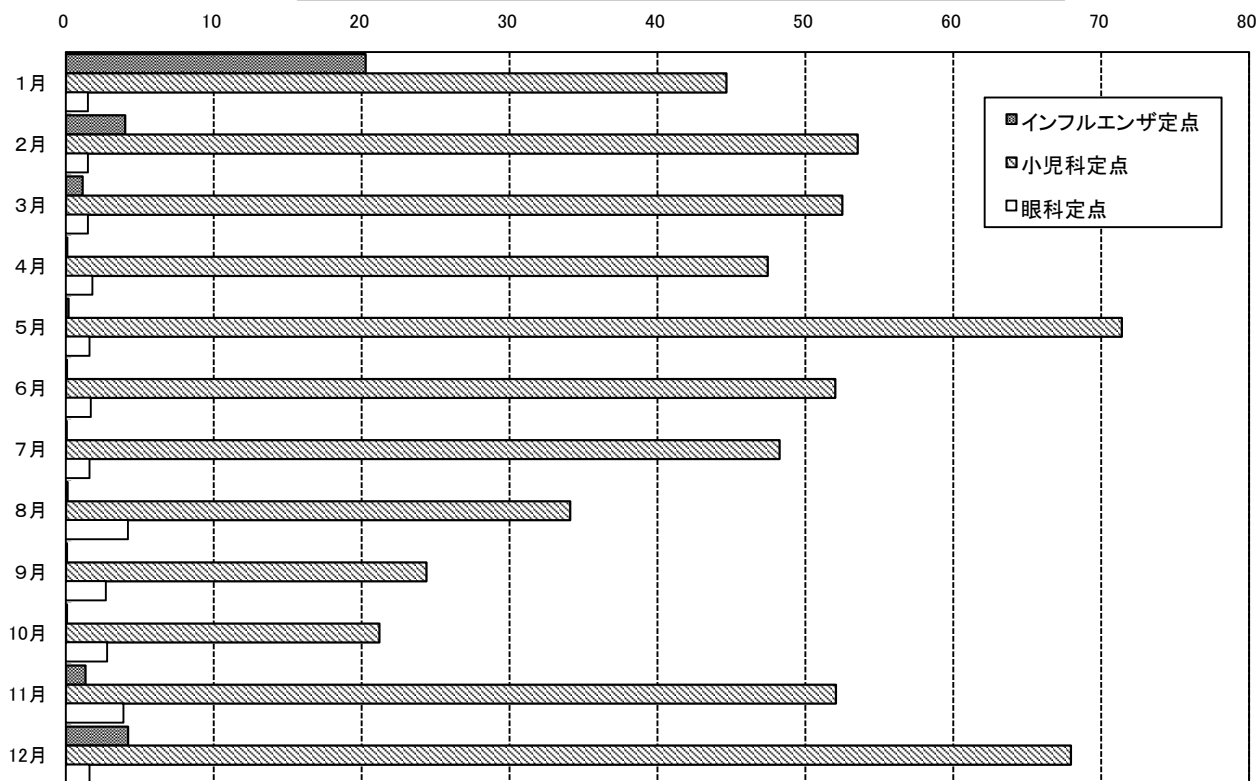


図-4 月別の感染症別割合(小児科定点)

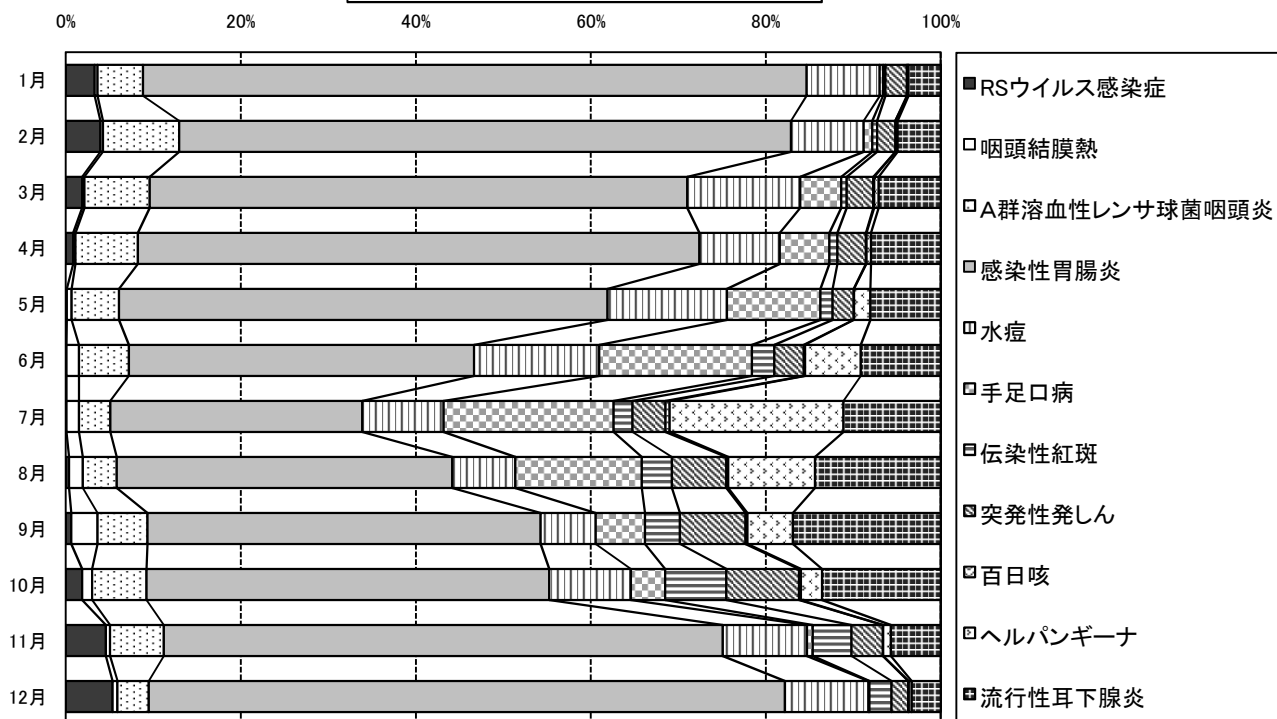


図-5 感染症別の定点当たり報告数(インフルエンザ・小児科・眼科定点)

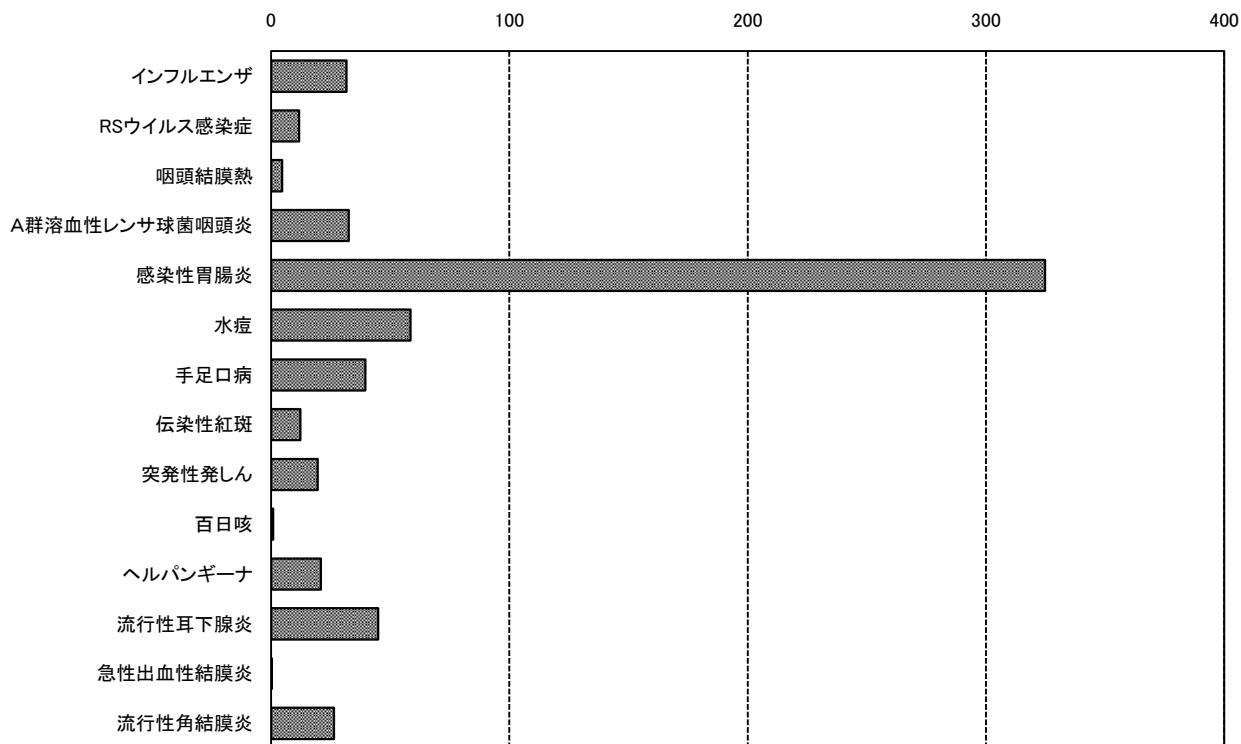


図-6 年齢階級別の感染症別割合(小児科定点)

